アニム別冊

少女愛好家のために



早稲田大学アニメーション同好会

この本では14歳以下の女の子以外は
いっさい「少女」と呼びません
そしてこの本では「少女」しか取り上げません

別冊アニコム CONTENTS

別冊アニコム流 少女愛好学 〈寺田融・望月智充〉

二次元の少女たち（アニメーション ヒロイン）

アニメファンのロリコン気質 〈家将〉

別アが選んだ三人の少女モデル

ロリータコンプレックスに花束を 〈寺田欣司〉

少女愛好から二次コンへ
父性愛から少女愛好へ } 〈只木泰彦〉

幼女の肩にさわりたい 〈寺田融〉

女ののけぞり 〈木梨香寿代〉

〈ルポ〉喫茶「かわいい女の子」

ど根性ガエルにおけるAプロ調美少女の研究 〈小林和彦〉

かわいい女子小学制服 STYLE COLLECTION

いのちの電話 相談記録

今、ターゲットは、タチアナ・キム

〈アニメコミック〉フローネ 第3話より

マリー・アントワネットの花嫁引渡し式

〈アルバム〉おにいさんといっしょ

私は正常 〈半径子〉

幼女・少女・大事典

少女ヌード写真集ほぼ完全リスト

早ア・美少女文庫

永遠の少女へ贈る 〈水上澄〉

目覚めよ、宇宙の少女愛に 〈望月智充〉

はーでいず・ないと 〈福山慶子〉

幼女伝説〈編集後記〉

（表紙・裏表紙イラスト 福山慶子）



イラスト 福山慶子

別冊アニコム流 少女愛好学

――「少女愛好家のために」を読む前に――

寺田 融
望月智充

1 少女の定義

A案　医学的にみて性的能力（生殖能力）を有さず、正常な生殖行為の対象とならない女性を「少女」とする。――↓上限が13～14歳。

B案　心理的にも異性への性的関心、興味、発情(?)が発現する第二次性徴期を迎える以前の女性を「少女」とする。――↓やはり上限が13～14歳程度。

C案　民法731条により女性は満16歳になると婚姻ができる。即ち、社会通念上、16歳に達すれば既に正常な性的生活を営む能力が備っていると見られている、ということである。――↓少くとも16歳以上では「少女」の定義に不適当である。

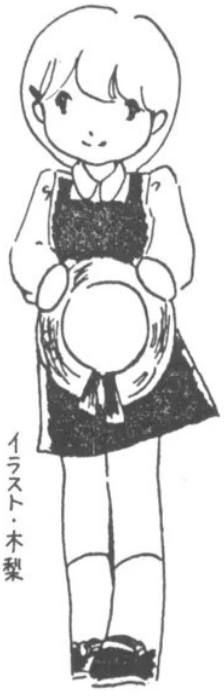
結論

A～C案からわかる通り大体14歳を超えた女性には実質的にも客観的にも一般の男女関係、性的関係との相違が殆どなくなってしまう。従ってロリータコンプレックスの対象といえるのは大体この年齢までであって、それ以上の年齢に対しては妥当といえず、そうでなくてはロリータコンプレックスという概念自体意義を持たなくなってしまう。以上の理由からこの「別冊アニコム」は全ページにわたり14歳以下の女性のみを「少女」と呼ぶ。また、「幼女」という語も多用されるが、これは、「少女」の中でも年齢が低い部類、およそ8～9歳までの女の子を示すものと理解していただきたい。

註　これは少女という語の定義ではなく、いわゆるロリータコンプレックスの対象となるべき少女の範囲を定めるためのものである。従って、「定義」というよりも「限界線」とした方が妥当かも知れない。

註　肉体的にみて、乳房の発達、陰部の発毛、骨盤の発達、初潮、などが完了してしまった女性は、既に「大人の女性」と何ら変るところを持たないわけで、もはや「少女」と呼ぶわけにはいかない。たとえば女子高生を「少女」とはとても呼びがたい。

註　但し「少女」をイメージでとらえるなら年齢的意義は多少薄れるし、マンガ、アニメ等容姿・年齢・性格・表現等にデフォルメの大きいものに於て設定上の一応の年齢にこだわるのはあまり意味がない（といいつつ本誌の「アニメーションのヒロインたち」ではかなりこだわっているが）。



イラスト・木梨

2 少女愛好の要因の分類

① 父性愛型
少女を保護し、いたわることから進み、強く少女に愛着を持ち、更には性的愛情も加わる。

② イメージ型
男性、あるいは成熟した女性との、対照の存在としてのイメージである少女を追い求める。未分化、潔癖のイメージにあこがれる心理が強い。

③ 肉体型
少女の肉体、容姿、動作等を追い求める。支配欲、サディズムにも通じる。

④ 逃避型
成熟した女性から、あるいは社会一般からの逃避の手段としての少女愛。更に進み人間からの逃避となると人形愛になる。

a 積極的逃避
成人女性への失望による。

b 消極的逃避
日常社会にとけ込めないことによる。

⑤ 精神同化型
少女的心理、精神にあこがれ、共感し、少女の世界に没頭する。自己の子供復帰願望にも関連している。生身、実在の少女を必ずしも追い求めない。

⑥ マニア型
執着の目的としての少女。それに専念することにより異端としての快感を得る。

⑦ 趣味型
本質的には成熟した女性に対する心理も全く正常で、少女である必然がない。

註 実際の個人においては、当然いくつかの型が複合していると思われる。また、この点についての心理学的考察については本誌「私は正常」を併読のこと。

註 本誌「父性愛から少女愛好へ」参照。

註 最近多いのがこれらのタイプであり、皮相的な少女ブームを作っている。しかし真の少女愛好はそのように簡単に生れるものではない。例えばアニメやマンガが引き金になることはあるが、それによってコンプレックスが生じるためには少年期の原体験、乃至それを形成すべき環境、性格が必要なのである。それらを持たない自称「ロリコン」は、単なるもどきにすぎない。



イラスト・福山

3 ペドフィリアとロリコン

A ペドフィリア（幼児嗜好症）
――社会への適応異常としての幼女嗜好を指す心理学用語である。適応異常を起すのに不可欠な要因は自己防衛のための逃避（前項④）であり、他の要因は補助的要因、あるいは発生状況である。

B ロリータコンプレックス
――純粋で愛らしい少女、幼女しか愛せない性格の呼称。今日の現象として短期間に広がりブームの様相を呈しているものであるが、大多数は前項⑥、⑦などの趣味、流行、ファッションのロリコンである。

ロリコンについての解説
語源はナボコフの小説「ロリータ」である。当然、ロリコンの対象となるべき女性は「ニンフェット的要素を持つ少女」、もっと解りやすく言えば「子供」なのである（最近の自称ロリコンにはこのことさえ解っていない者がおるのだよ）。その限界線を本誌では14歳としたわけであるが、それほど的を外れてはいない筈である。だが「ロリコン」には、略語であることも原因して、些か安っぽい響きがあることは否めない。従って本誌の題名も「少女愛好家のために」としてみた。この「少女愛好家」が前項①～④、即ち真のロリータコンプレックスのみを指すことは言うまでもない。

4 様々な少女メディア

A アニメーション――表現の性質上、「少女」と共通の愛好者を持つ割合が大きいことは確かである。本誌もアニメーション同好会の会誌である以上、当然アニメに関する記事は多い。

註 これは、ロリコンという言葉の流行のきっかけとなった「カリオストロの城」で、正常な結婚生活を営める年齢に達した女性であるクラリスに関して、彼女を狙う伯爵を「ロリコン伯爵」と称したことにも原因があるのかも知れない。

註 この点、「ろ」はロリータの"ろ"」と題したアニメック17号の特集でも同様の誤りを犯している。一例を挙げると、紹介されている中島史雄、村祖俊一のマンガは、殆どが「セーラー服趣味」ものであり、ロリコンものではない。

註 勿論、生身の美少女を相手に楽しめるのならそれに越したことはないが、その点は各自の行動にまかせることにして、ここでは、代替物としての少女メディアを並べるにとどめた。

註 本誌「アニメファンのロリコン気質」参照。



イラスト・福山

B マンガ
C 小説
D 映画・TVドラマ等
E 写真集・雑誌等
F CF・ポスター等
G 同人誌

特にSFと少女愛好とには強い関係があるといえよう。共に少年期の空想癖や体験がセンス・オブ・ワンダーを形成するからである。

同じ趣味の人間が集まれば何かを作ってみたくなる。本誌もこうして生れた。

註 アニメック「"ろ"はロリータの"ろ"」における「SFと少女愛好の双曲線」は興味深い。

本誌ではアニメ以外のメディアや三次元の少女についてもかなり取り上げているので詳しくは本文を。(但しマンガはほぼ完全に割愛した)

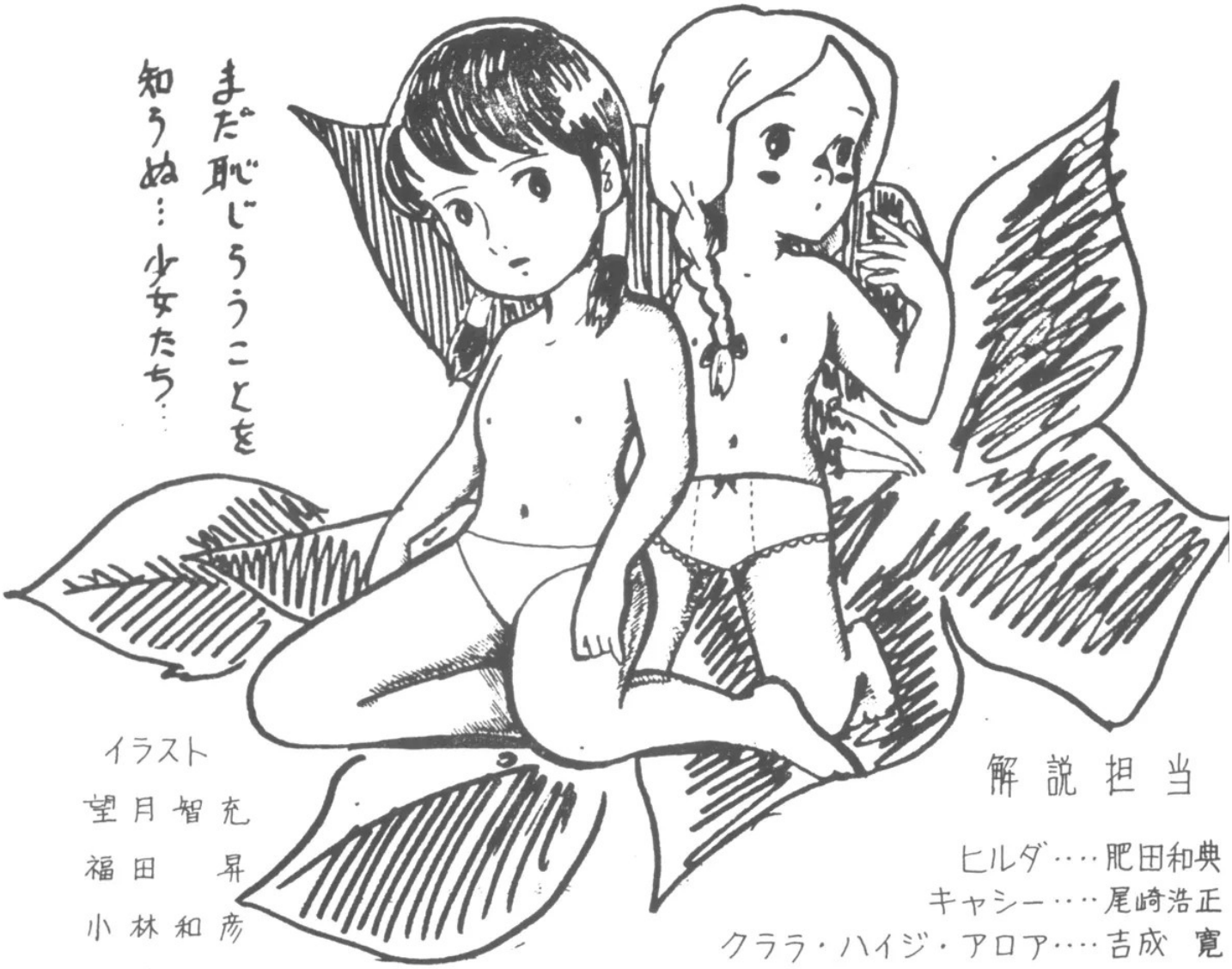
編集前記

別ア・6人のメインスタッフにインタビュー

順不同・全員匿名

XXXX

二次元アニメーションの少女ヒロインたち



イラスト

望月智充
福田　昇
小林和彦
田崎康博

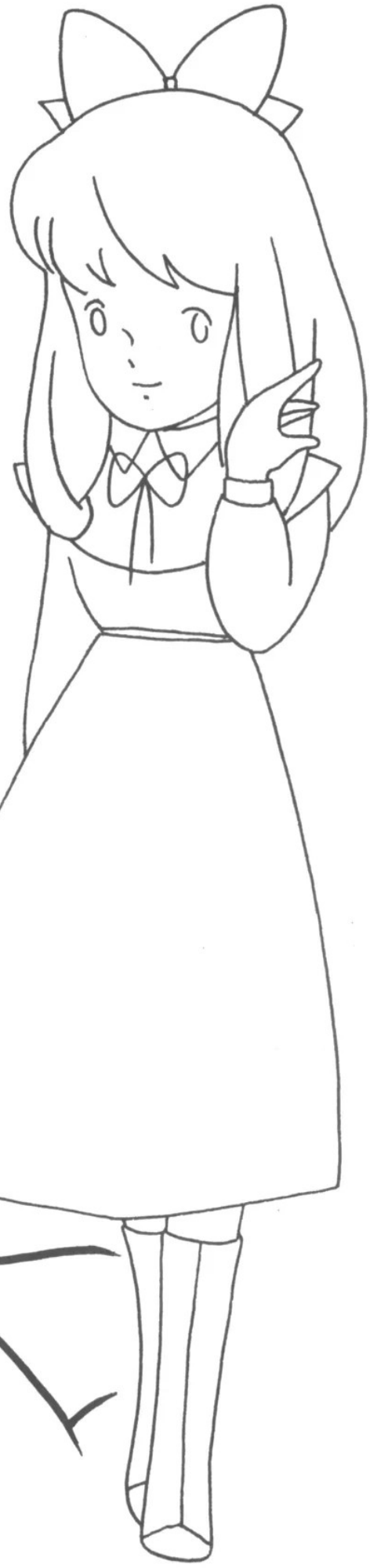
解説担当

ヒルダ……肥田和典
キャシー……尾崎浩正
クララ・ハイジ・アロア……吉成　寛
ラナ・〝雨ふり〟の女の子……小林和彦
まゆ・アンジェ・ベッキー・フローネ……福田　昇
紫の星の王女様・クシナダ・灯台守の少女……矢野　篤
クラリス(幼女時代)・しずか・ペリーヌ・アニー・ベス・メグ・牧子・ネル……望月智充
リーズ・うらら・マウニ・ミミ子・きいろ・リゼット・恵子・モンスリー(少女時代)……田崎康博
フィオリーナ・ダイアナ・アン……　？

クララ

横顔がとってもかわいい。原作のクララはただの都会風の弱い女の子にすぎませんが、高畑版では――というより、宮崎版のクララは、自分で自分を解放できる女の子になったのです。いいですねぇ。

ロッテンマイヤー女史に、大事にためておいた白パンを取り上げられて嘆くハイジを慰めようと、必死で絵本を読むクララは最高でした。



ハイジ

えー、女の子なんですね、この子も……。5歳でアルムの山に来て、8歳の時にクララ（12歳）に出会うのです。クララの足を直そうとしているハイジより、山に来た頃のハイジの方が生き生きしていたようです。ところで、6歳も年下の女の子と遊び回るペーターも、たいしたもんです。





クラリス（幼女時代）

命を助けてもらう時にぜいたくを言うつもりはないが、やはりそれがピンクのドレスにエプロンとリボンをつけた美幼女だったりすると傷の治りもうんと早くなるに違いない。もしも傷を受けて倒れている僕を見つけたら、小さい妹さんがいる場合はその子に、いない場合は通りがかりの女子小学生にお水を持たせてやって下さい。



しずか

しずかちゃんこの女の子である。女の子であることが彼女の仕事なのである。現実世界にやさしさが少なくなっていく中で、彼女はどんどん女の子の理想になってゆくのである。



ペリーヌ

ペリーヌは、とても淡い存在。自分を主張しない。ただ一所懸命に生きていて、そして、いつしか周囲をも変えていってしまう。そして人は思う。「ああペリーヌ、君がそばにいたんだね」――ペリーヌはそんな少女。それこそ彼女がまさしく少女である証しに他ならない。

リーズ



彼女は恥ずかしがり屋だ
彼女は誰にでもやさしい
彼女は花が好きだ
彼女には土の匂いが似合う
彼女はきよらかだ
彼女には赤いネクタイが似合う

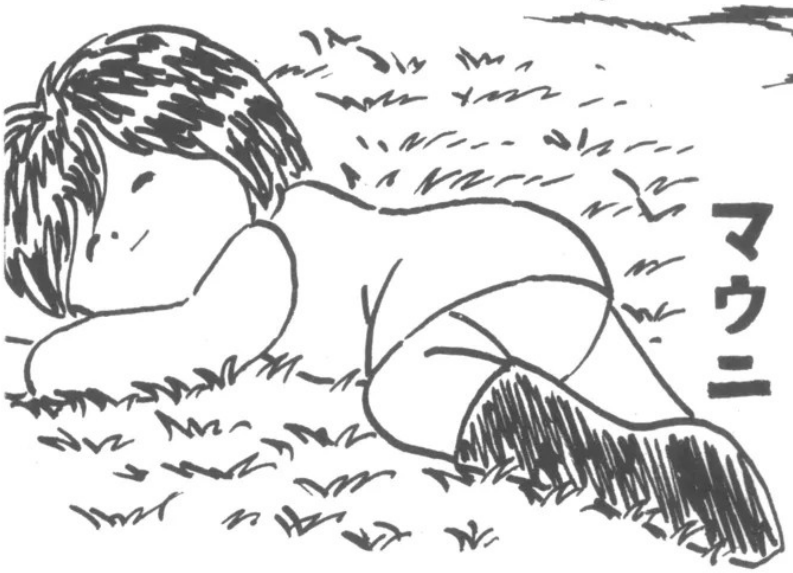
彼女は美しい
彼女はまるで天使のようだ
彼女は言葉を話せない
でも彼女は天使の言葉を持っている
彼女は？
彼女の名はリーズ

うらら

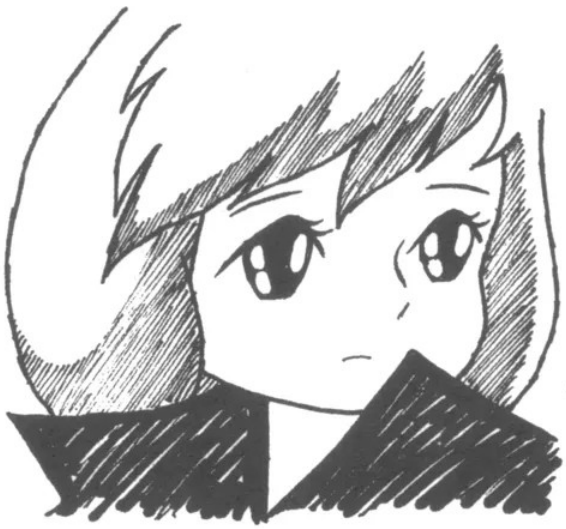


彼女はみんなのアイドルだ。彼女はみんなにやさしい。ビートンにも、マーちゃんにも、ガキおやじにも、ブリキンにも。特にガキおやじはどーしよーもない人間なのに、いつもかばってあげる。そんな彼女がすっごくかわいい。でも後半になって、ネンネンなどという変態ロボットが出てきてから、あまりかわいくなくなってしまった。やたらパンツを見せるようになってしまったし。やっぱりうららちゃんは前半につきる！

マウニ

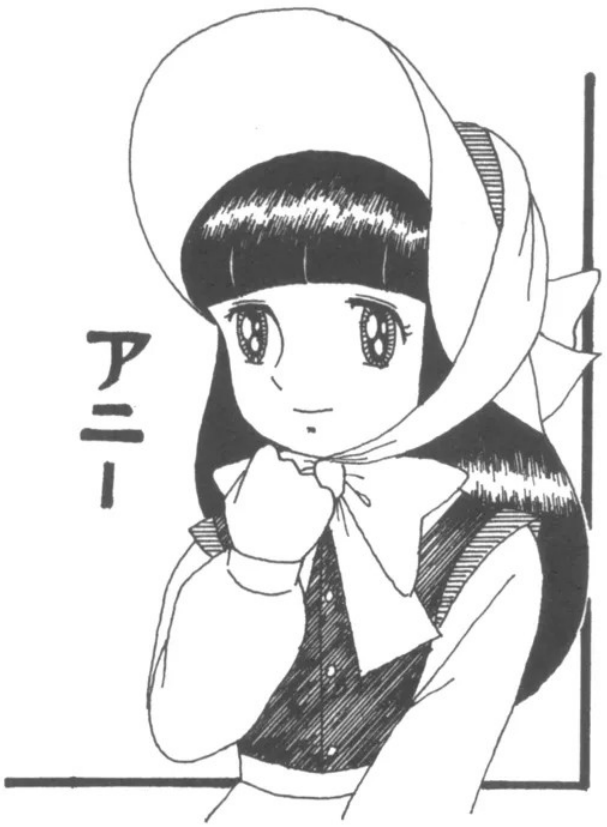


マウニちゃんはかわいいんです。ヒルダを信じ、ヒルダと一緒に遊ぶんです。そんな純粋な心が冷たいヒルダの心をひらかせ、グルンワルドを裏切らせたんです。そして最後までヒルダを信じ、生き返ったヒルダを暖かく迎え入れたんです。



紫の星の王女様

フッフッフッ。最近、わが早アで静かなブームを巻き起こしつつあるのが、この紫の星の王女様なのですよ。この、王女様のシーンを担当したのが、今をときめくあの宮崎駿。最後に殻が割れて生身の人間に戻り（裸ですぞ♡）「寒いわ」と一言。この一言を言う時の姿は何とも言えません。ちょっと太目で愛らしい。今ごろになって騒いでもだめですよ。私がもうすでにつばをつけてあるのですからね。フッフッフッ。



アニー

衰弱気味になって帰国する（ハイジですね）。見舞に来たネロはアロアに会えず、帰ってゆく。その後姿を眺めているアロアのやや青ざめた表情は、少女のそれではなく一人の女性のものだったように記憶している。もう一つ。最終回の話。吹雪の中、ネロを捜しに出たアロアは、雪の中に倒れて叫ぶ。その声は、果して「少女」のものだったろうか。

「少女」とは、結局のところ当方（こちら）の勝手な思惑で作り上げるものだ。アニメーションは確かに最適の舞台だ。が、そこに何らかの実在感を見出したなら、気をつけた方がいい。「少女」はいつまでも「少女」のままではいない。すぐにでも「女」に変わる。アロアにも、そんな一瞬（一瞬でない作品もありますが）があった。それでも、アロアは十四歳以下だと言い切ることができるだろうか。



アロア

年齢のことを言うなら、確かに十四歳以下という範疇には含まれるのだろう。初めの一クール程は麻上洋子さんの声の所為もあって、ただの女の子だった。後半だったと思うが、アロアが勉強の為にイギリスへ渡るエピソードがあった。そして神経

アニーは、女の子らしい誇りと悩みがいっぱいの少女。
野の花のつぼみのように、不安な風と希望の風に心を激しくゆらす少女。野の花のつぼみのように、内気な姿の中に憧れをたたえて花ひらく明日を夢見る少女。

まゆ



まゆは待っている。父に死なれ、母に死なれ、孤独にうちひしがれ、それでも絶望で気がくるうこともなく、ひたすら輝く明日を待っている。激しさをもつのでもなく、優しさをもつのでもなく、少女はかたくなに自分が花ひらく時を待ち、ただじっとつぼみのままで殻をとざす。我々は少女の明日をつくってやることしかできない。

ベス（若草物語）



「もしあたしでよろしければピアノ……」あとは声にならない。「あの……あの……」消え入ってしまいそうな絶叫・何でもないことが、ベスには必死なんです。ガラスのように繊細な心を失っていない少女には……。
（ピンクの口紅をつけていたのが印象的）

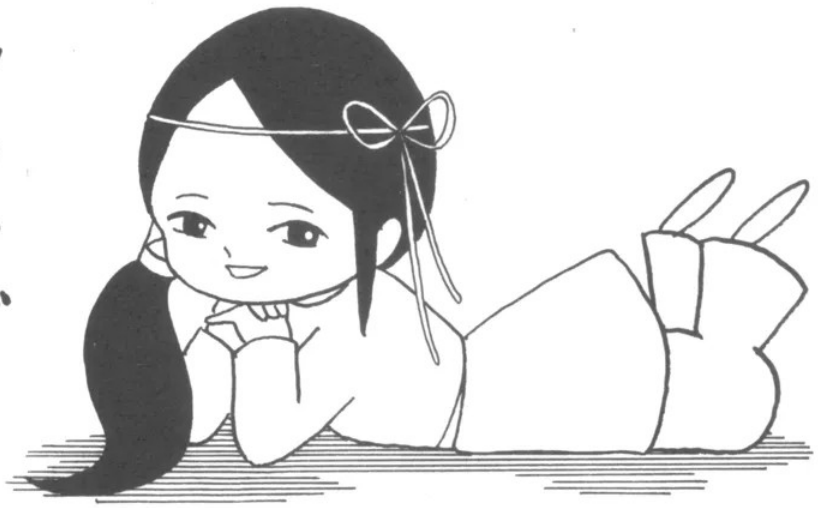


メグ

メグは女の子のあらゆる要素を持っている。あらゆる要素をゴタゴタに、しかし程よく。スタッフ全員のさまざまな願望をすべて背負って。だからメグはだれでも魅了してしまう。魔法も使わないのに……。

アンジェ

植民地インドを治める父親を持ち、貴族の娘でありながら、うす汚れた民衆の間をかけまわる少女。彼女が追い求めるものは凶悪な犯罪者たち。少女は知っているのだ。自分が絶対に安全であることを。そして、とらえられた男たちを前にして、女王アンジェはかわいらしく笑うのである。



クシナダ

多くのアニメのヒロインは外国ナイズされたお目々ぱっちり型がそのほとんどを占めている中でこのクシナダヒメの存在はユニークである。極めて日本的な顔なのである。森康二の個性と才能が最も光っているヒロイン・キャラと言えよう。しかし、ただ王子に助けられるだけのそれまでの〝お姫様〟の域を脱してはいない。その彼女が一箇所だけ主体性を見せる場面がある。そうなんです。オロチに向かって石を投げるんですよ、石を。

少女



この灯台守の少女を好きだと言えるアニメファンは本当の意味でのマニアックなロリコンと言えよう。えらい!!　一挙手一投足に愛らしさがにじみ出ている。セリフはほとんどないが、後ろ向きになって寝ている時の横顔と毛布からちょっとばかりのぞいた肩がかわいらしい。大工原少女キャラの最高傑作。

ラナ

鳥の心が解り、テレパシーが使え、空まで飛べちゃう女の子。優しさに満ちたラナちゃん、けなげに耐えるラナちゃん、悲しみに暮れるラナちゃん、笑顔をふりまくラナちゃん、麦藁帽子のラナちゃん、パジャマ姿のラナちゃん、どこから見ても魅力的で、溺愛せずにはいられない。守ってあげたくなる面と凌辱してあげたくなる面を備え持ち、全国のロリコンが消耗したエネルギーはインダストリアの一年分を優に越える。においつき。



ベッキー

ベッキーを辱しめた少年は、強く鞭打たれることで彼女に忠誠をちかわねばならなくなった。

「そうね、大きいわね」

少年の素直な好意もなんなくうちくだかれる。

ベッキーの無限の意識に触れた時、我我は征服され、支配されてしまうのだ。

この隠れた破壊性こそベッキーの持つ魅力である。ベッキーはそれを帽子とエプロンの下に秘め、緑の中をかけまわっている。



灯台守の





フローネ

フローネは女性神的な力によって問題を解決するのでもなく、スーパーヒロインのような力を持っているのでもない。フローネにとって世界は、フローネの眼から見た世界であり、それ以上でもそれ以下でもないということが彼女の哲学である。絶えずゆれ動き、直線的に行動するその心と身体はあたかも子犬のようである。

〝雨ふり〟の女の子

ミミちゃんの左隣りに座ってる、どこにでもいるような普通の女の子。可愛らしさを発揮するのは〝雨ふりサーカス〟の方で、ミミ子の自由奔放さは持ってないが、素直で健康的な魅力を放つ。出番も科白も殆ど与えられてないのにとても可愛らしく描かれているのが実に嬉しい。〝パンコパ〟の日常性をかもし出すかのようにさりげなく登場して、普通の女の子に餓えたアニメファンの目をすっかり引きつけてしまった。やっぱり女の子は顔だねえ。



ミミ子

ミミちゃんはとってもつよいんです。おそうじも、おせんたくも、おりょうりも、みんなひとりでやっちゃうんです。でもやっぱりまけちゃうときもあるんです。あまえたいときもあるんです。そんなとき、つよーいパパがほしいなーとおもうんです。

きいろ

きいろちゃんはかわいい。あのむくれっ面も、あの大口をあけた笑い顔も、かわいい。あのひょうきんでおっちょこちょいで、そしてキャーキャー言ってさわぐところがまたかわいい。でも、なんてったって、あの松尾佳子さんのかわいこぶった声が一番かわいい。

ウ〜、きいろちゃ——ん。



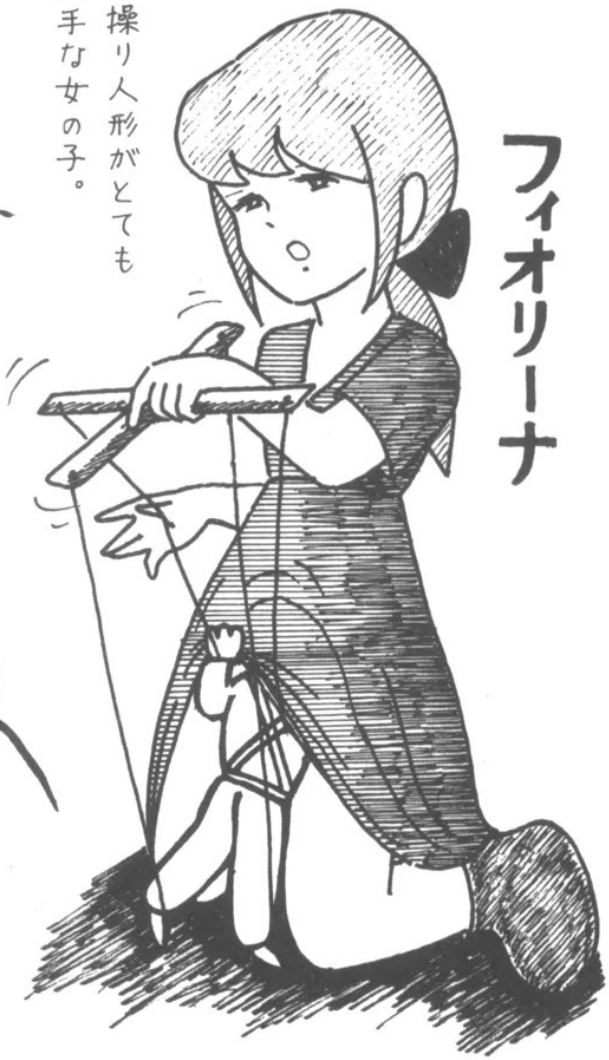
リゼット

トム・ソーヤという作品の中で特に魅力的なキャラクターがリゼットである。彼女は突然、旅芸人の一座の一員として物語に登場する。彼女は、実の父親に売られ、一座から逃げ出す希望を失った時、役者という仮面を被り、自分の本性をかくしてしまった。客に作り笑いをうかべ、愛想をふりまき、自分の人生の定めにしたがって生きていかざるをえなかった。そんな時、同じ境遇のハックに出会い、初めて心を開いた。だが、突然の別れ。彼女は再び、仮面を被り、悲しい人生を生きてゆかねばならなかった。



フィオリーナ

操り人形がとても上手な女の子。







モンスリー（少女時代）

「海が来る！」彼女は一瞬にしてすべてを失ってしまった。父も、母も、ムクも、そして故郷も。だが、彼女の試練はそれだけではなかった。最終戦争による食糧不足、物資の欠乏。そんななかで、小さな彼女が生きるのはただごとではなかった。自分の力で、自分の努力だけで生き延びるしかなかった。そして、生き延びることに一生懸命なあまり、少女はいつしかやさしさを忘れてしまっていた。



友に見捨てられ、人々に罵声をあびせられながら彼女は戦う。ブッチャーは言う。「人類は滅びる運命にあるのだ。滅びる運命にな！」それでも彼女はガイゾックを倒すため、捨て石となって死んでいった。ガイゾックは、言う。「悪意に満ちた地球に、お前達の行動をわかってくれる生き物が一匹でもいるというのか……」だが地球の人々は、勝平を暖かく迎えてくれた。彼女はむくわれた。



ある アニメ誌の新番紹介で鉄人28号のとこに「ロリコン向けのサービスとして牧子ちゃんが登場する」って書いてあったので、「じゃあ何かい、ロリコンは女の子さえ出りゃ喜ぶとでも思っとんのかい？なめんなよ」と思ったんだけど、いざ番組が始まるとあっさりかぶれてしまったこの節操のなさ！

花薫る野辺に
小鳥は歌い
歩むネリーの
麗しき姿
歌え
響け
はしばみ谷の
乙女の歓び

ダイアナとアン

「一緒に〝はしばみ谷のネリー〟を歌いましょうよ」

もし一緒に旅をして、一緒に食事して、一緒の部屋で寝るのなら、こんな女の子がいいなあ……と思っていた女の子がそのまま絵になって出てきてくれたのがネルちゃんである。あの直線脚（あし）がいいの！



キャシー　ミニスカートからまっすぐに伸びた足の清純な色っぽさがすばらしい。それは子供だけが持つ色気である。まだまだ体つきや仕草に幼さをただよわせていながら屈指のツッパリ型キャラである彼女は、そのアンバランスさ故に妙に男の保護本能をくすぐるのである。そして、彼女がジム（＝我々の代表）に対して徐々にうちとけていくのがまたたまらなくうれしくて、彼女が愛しく、可愛く思えるのである。



ヒルダ

ホルスにとっては意外なでき事であった。シチュエーションとしてはまさに我が意を得たりというところではあるが、時として日常性の中に埋没してしまいそうになるこの「出会い」というシロモノ、これはもうファーストコンタクトのテーマに十分になり得る。特に、少女としての武器を発揮して思惑通りに男の子を翻弄する少女と、全く異質の生物を目の前にして惑う男の子では結果は目に見えている。もっとも「私達兄妹ね。双児よ」なんて言われて手を握ってもらえればホルスほどウブでなくったってポーッとなるのは当然だし、何せ美少女は自分のまわりに磁場を張っている様なもんで、手を触れただけでもこれはS・Fもんですよ。ともかく、こうしてこの「出会い」はドラマチックな「出会い」となったのだけど、シニックな笑いを胸にひめた美少女とノーテンパーの男の子、いつの世でもこの図式は変わらんのだろうなあ。

・アニメファンの口リコン気質・

家将

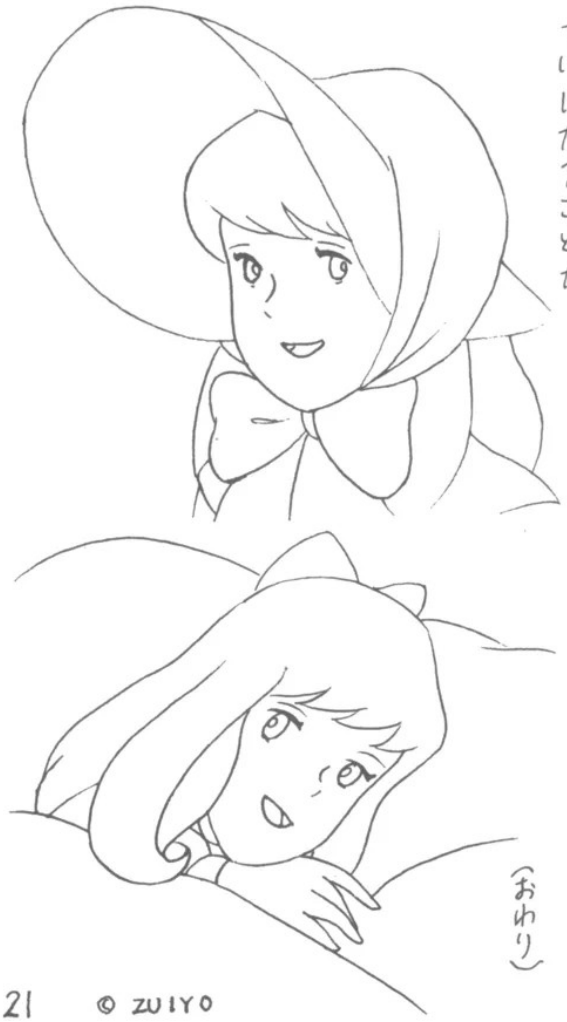
アニメファンには何故か口リコンが多い。そう望月君に言われて、そんなものかなと思った。アニメーションのファンの間で「口リコン」なるものが云々され出したのは、ごく最近のことのような気がする。もちろん、漫画映画に登場する美少女キャラクターに特定のファン層がついて熱をあげるということはあった。「太陽の王子」のヒルダなどは、その典型と言えるだろう。しかし、それを口リコン、口リータ・コンプレックスと直接結びつけることはできないように思われる。

口リコンの対象となるのは、年齢の低い（望月君の今回の企画によると十四歳以下だそうだ）、つまり女性として分化する以前の女の子である。だから、当の女の子は自分の存在がある種の男性をひきつけようなどとは、思ってもみないことだろう。いや、あるいは多少とも意識はしているのかもしれない。が、大事なことは、口リータ・コンプレックスが相手の少女の意志とは全く関係なく存在している、ということなのである。自己の価値観を勝手に投影しているだけなのだ。その少女からどんな反応が返ってくるか、そんなことはどうでもよいのだ。

ここまでくれば、アニメファンに口リコンが多い、あるいは増えてきている、ということの理由もわかるというものだ。アニメーションでは、というより漫画映画では、自分の思いどおりのキャラクターを創造することができる。もっとも、それだけの技術があればということだが。また、他人の作ったキャラクターに対しても、人間の俳優の演ずるキャラクターよりも、より強い思い入れができるだろう。というのも、観客の価値観が投影しやすいからだ。

ということは、アニメーションにおいては、口リコンに限らず、キャラクターのファンがつきやすいということだ。特に、口リータ・コンプレックスのように、自分勝手な思い入れをする人種にとっては、アニメーションというのはまさに最適な表現形式と言えるだろう。

さて、口リコンとは言っても、その持っている価値観は多種多様、人それぞれだ。つまり、好みのキャラもいろいろということなのだ。そうすると、好きなキャラクターによって、逆にその人の性格が判ってしまうということだ。早大アニドウの第二回作品には、少女達の友歓があるという。せいぜい、お気をつけになることだ。



（おわり）

© ZUIYO

「別ア」が選んだ三人の少女モデル

半　やっぱり子供服雑誌は毎号目が離せないよね。

品田　僕は「こどもブティック」のバックナンバーを12冊買った。でも可愛いモデルは俊子ちゃんしかいないけど。

大庭　いや、モデルの魅力がよく出ているのは子供服雑誌より車内ポスターの方だね。特に興銀の由美子ちゃんのポスターは季節ごとに変って、遠距離通学者にとっては非常な楽しみだ。

半　恵子ちゃんは渋いなー。色色な表情するし、俊子ちゃんの笑い顔なんてワンパターンじゃない。

大庭　しかもすきっ歯で笑われるとちょっとねー。

品田　ふん、恵子ちゃんなんてはっきり言ってブスだよ。あんなのいい人の気が知れないね。

大庭　そうそう。おでこ出してりゃいいってもんじゃないよ。

半　「こどもブティック」秋の号の90番と289番を見てほしいな。個性がにじみ出てるんだよ。

品田　いいや、なんてったって俊子ちゃんのマクドナルドのCFだ。

大庭　でも、可愛いのは子供だけだってことは確かだよね。

半　そう、結局僕たちって少女が好きなんだ（一同、力強くうなずく）。

品田　うん、僕たちこれからも手をとり合ってロリコンの本道を歩んでいきたいね。

大庭　賛成。少女を愛する以外にロリコンの道はない。

半　じゃあさっそく綾瀬幼稚園に女の子を観賞に行こう。

品田　帰りに「かわいい子ども服」の秋の号を買わなくちゃ。俊子ちゃんが出てるんだ。

大庭　僕は由美子ちゃんの新しい車内ポスターをとってこなくちゃな。







由美子ちゃん

（命名・大庭椰邦）

- こどもブティック・モデル
- 日本興業銀行ポスターで活躍中
- TVドラマにも出演



俊子(としこ)ちゃん

(命名・品田俊夫)

- こどもブティック
  かわいい子ども服・モデル
- マクドナルド、タカラ等のCFで活躍中



イラスト
福山慶子



恵子ちゃん

(命名・半径子)

- こどもブティック
  かわいい子ども服・モデル
- 銀座松屋ポスターで活躍中

ロリータ・コンプレックスに花束を

寺田欣司

ロリコンとは、いわゆるロリータ・コンプレックスの略語だそうである。ところでロリータ・コンプレックスとは何でしたっけね。

初恋の相手、といっては不正確になるかもしれないが、最初に異性を感じた存在が後の性格形成に与える影響力ははかりしれないものがある、とされている。個人差はあるかもしれないが、男の子の場合、概ね自分の周囲にいる同じ位の年齢の女の子、すなわち少女か、あるいは母親かいずれかである、ともいわれている。そして、その結果として無意識のうちにその男の女性観を決定させ、かつ支配する要因として残ることになる。さらに成人した後にもその感情が強く残る場合もあるが、その様な感情までいわゆるロリコンとかマザコンというカテゴリーに入れてしまうとこの世の男は全てそのいずれかとなり、それらをもって「異常」とすることはナンセンスとなるのである。また、最初に異性を感じた相手が少女の場合は自分自身の成長に伴って相手も成長してゆくし、その対象が母親であった場合にも自分自身の成長に従って容易に女性全体への思慕に変化してゆくとされているから、この種の感情は成長の一過程



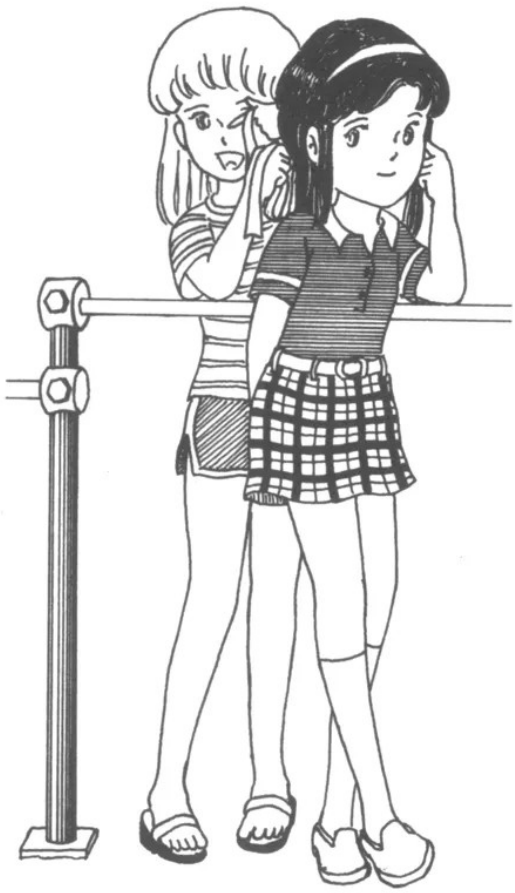
における過渡的なものととらえるべきでもあろう。

ところで、極まれにその初めて異性を感じた相手が実在する人物でなかったというケースに遭遇することがある。たとえば小説のヒロインなどの想像上の世界の人物その他のごときである。彼女らは何らかの理想の極致として描かれている場合が多く、また現実にはあり得ない魅力を持ち合わせていることもあるので少年にとっては忘れ得ない存在になる。無論この感情も過渡的なものであろうが、こちらがいくら成長しても、本や画面の中ではいつまでも同じ姿のままでしかも裏切ることなく生き続けている存在は時として格好の逃避の対象と成る。たとえば、現実の世界の女性に幻滅を感じたり失恋したりすることによってその様な感情が純化してゆくことがある。特に非常に内気な性格であったり男としての自分自身に並々ならぬコンプレックスを抱いている者にとってはそれが一種の救いになっていることもあり得よう。しかし、だからといってその様な感情を短絡的に異常と決めつけてしまうのは早計である。なぜなら彼らは、自身の内にかかえている問題が



解決されさえすればたちどころに周囲の者たちと変わらない感情を抱くようになるであろうし、またいわゆる少女願望も二義的なものであろうから、自分の本来の理想とする女性に出逢うことができたなら代償的対象に向けていた感情は速かに消えうせるに違いないからである。つまり、あくまで仮空の少女に対する感情が最優先しているわけではないのである。

それでは、そうなった原因はどうあれ、とにかく現実の少女にしか全く興味を示さない者についてはどうであろうか。勿論、ここでも実際は成人した女性を望んでいるのだが、という人々は除かねばならない。彼らは、あくまで安易な手段としてしか少女を見ていないからである。さて、彼らの対象となり得るのは、概ね内心的には女性としての自我が未だ確立しておらず、肉体的にもほとんど女性としての機能が表れていない段階の、いわば「未分化」の状態にある少女であると思われる。とはいえ、その対象となるのは、あくまで女の子であり、よく言うところのヘルマプロディトスでもなければ、ましてや男の子でもない。子供という「未分化」の状態ではあるが、いずれは成人した女性になるであろうという事実がそこに大前提として存在するのである。すなわち、そこにいるのは将来成人した女性になることが確定している存在としての少女ということになる。



彼らに共通している感覚は、成人した女性になってしまっては、もはや感情を抱く存在ではなくなってしまうというものであるが、かといって人形とかその他では成長はしないかわりに、それゆえ生きていないのでその対象たり得ないのである。成長し続けては欲しいが成人しきってしまっては困る、という二律背反こそがいわゆるコンプレックスなのかもしれない。結局は、成長しつつある一瞬間をとらえ、なおかつその間の成長した変化を見ていることになるのであろう。すなわち成長という時の流れの一断を切り取って、いわば「微分」しているといってもよいであろう。

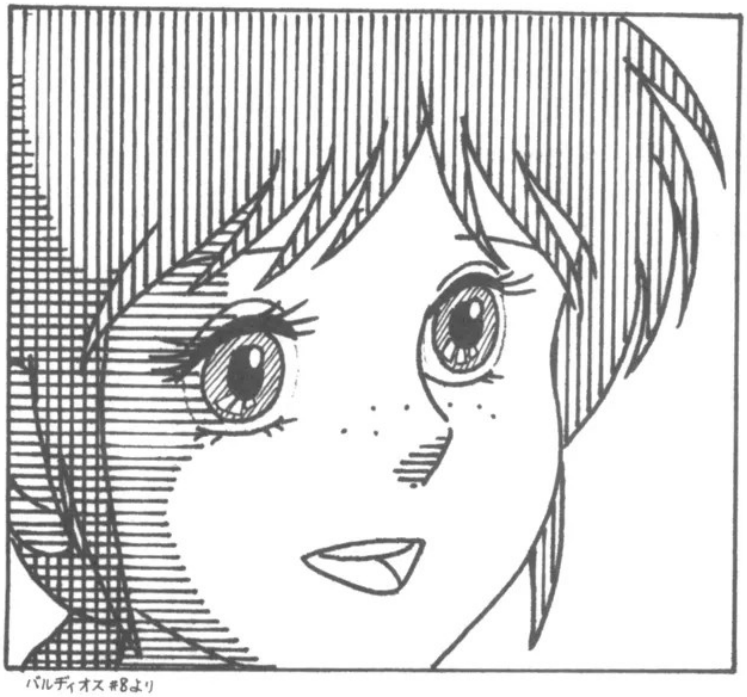
しかし、この操作はいずれにしろ現実にはあり得ない観念上の姿を造り上げることにほかならない。いわば個人の内心における作用であり、しかも意識的に行うものであろう。したがって個人の心に描く所の理想や感情の動きについては、もはや他人がどうこう言う筋合いのものではなく、ましてやそれが内心に留まるうちは何人にも侵されうべからざるものなのである。第一そのような感情を抱く者でも自分の感情を抑制することはできるし、自分の切々たる思いを公言してはばからないなどということはあり得ないであろう。少くとも自ら苦しみ続けなお且つそのことを臆面にも出さず耐え忍んでいる人々を「異常」という一言のことばでか

たづけてしまう様なことは私にはできない。もしそれを変態と呼ぶならば、過渡的な感情とは幼虫がさなぎを経て成虫となるという意味での変態という意味において妥当性を有するのである。

ところが現在巷ではファッションとしてのいわゆるロリコンがもてはやされている。「今やロリコンは市民権を得た」などという記事があちこちに氾濫している。けれどもそこにはコンプレックスとしての苦しみは見られない。異常なまでの明るさと歓喜とが満ちあふれているだけである。果たしてそこに何人の本当のいわゆる「ロリコン」が参加しているか、はなはだ疑問である。思うに単なるもの珍しさだけで何にでも飛びつく一部の安易な大衆と、それに目をつけたマスコミとが「当事者」不在の茶番劇を演じているに過ぎないのではなかろうか。今の勢いがブームでなければよい、が、ブームであるとしたらいつかはその終りが来るはずである。その時、後に残ったものの中にどれだけの救いがあるというのだろうか。結局のところ、いわゆるロリコンは再び「異常なもの」として世の片隅に追いやられてしまうのかもしれない。しかし、私は、本当に異常なのは、実は今のブームとそれを支える者たちとそれに何の疑問をも抱かない人々の方ではないか、と思えてならないのである。







バルディオス #8より

イラスト
小林和彦

少女愛好から二次コンへ

論文二本立

只木泰彦

私の経験や観察などから、少女愛好家は概して清純指向だと思われる。私自身もそうであるし、私の周囲の少女愛好家の人も、個人の好みの差は多少あるとしても清純指向なのである。ではなぜ、少女愛好家は清純指向なのであろうか。これは、愛好の対象となる少女が子供であり、ほとんどの大人が持っているような不愉快な知恵なるものを持たない、純粋無垢な存在であるからである。ゆえに少女愛好家は清純指向となるのである。このことを頭において、次の理論を展開してゆこう。

先ず、少女愛好家が実際に少女と接触を保っているのかということについて考えてみる。おそらく現代においては、ほとんど接触を保っていないと言っていいであろう。なぜなら最近特に少女写真集や少女に関する書物が多数出版されているからである。これは、少女愛好家の欲求が満たされていないことの現れであると思う。実際に少女愛好家が少女と接触を保っているならば、このような現象は起きないはずであるからである。このように、ほとんどの少女愛好家は、実際に少女と接触を保てないので、各人の思考の中で少女というものを理想として具体化してゆかざるを得なくなる。(ここで言う理想とは、少女の象徴である清純というものである。)そしてこの具体化は、実際の少女との接触がないために非現実なものとなり、かつ、清純という象徴のみによって行われる。では、このような具体化によ

父性愛から少女愛好へ

我々少女愛好家が抱いている、小さい女の子に対する愛情は、ほとんど全ての男性が持っている　父性愛の変化したものではないであろうか。男性が持っている愛情のうちで、最も激烈なものが父性愛である。単なる異性に対する愛情は、時間と共に失せてゆくし、妻に対する愛情でさえも同様である。また、息子に対する愛情は異性に対する愛とは違うし、母親に対する愛情は成長するに従って薄れてゆく。それに対して、娘に対する愛情は、自分で育てた異性のためであろうか、永遠の愛情として存在するものである。そしてこのような感情は、潜在的にほとんどの男性が持っているものであるが、一般にはこれが父親になった時にのみ現れると思われている。しかし、これは未婚の男性にも現れることがある。それが所謂少女愛好というものとなる。

ではなぜ一般的未婚の男性にはこの感情が現れないのか。それは身近にいる同年齢の女性に惑わされてこの感情が目覚めないか、あるいは母親から抜け切らないかのどちらかのためである。そして、女性に惑わされることがなくなり、母親からも抜け切るには、かなりの年齢にならねばならず、その頃には、あの中年趣味と言われる、セーラー服、ハイソックス指向となるのである。

しかし、なぜ父性愛が少女愛好につながるのか。それには父

る少女像とはどのようなものであろうか。これは、一般にロリコンであると言われている宮崎駿や吾妻ひでおの少女像を見てみればわかるであろう。宮崎氏の少女は、多くの人が認めるように、「おしっこもウンチもしない女の子」である。また、吾妻氏の少女像は、彼自身の語るところによれば「植物のような女の子」だそうである。この二人の少女像を考えてみればわかるように、少女愛好家の理想像は、排泄などはせず、ほとんど食物も食べないような、現実離れした女の子となる。では、このような女の子をどこに求めるか。これには主に二つの方向がある。その一つは人形愛好である。人形ならば排泄もせず、食物も食べず、その上ほとんどが可愛い女の子なのである。これならば理想通りであるが、しかし人形には性格というものがない。これは、本人が自ら性格付けを行えばよいのである。(つまり、人形に名前をつけたり等々)だが、これだけでは飽き足らない人も多い。そこでもう一つの方向、二次元コンプレックスが出てくることになる。これならば、作品の中で性格を持っており、その上たいてい自分の好きな性格を持っている。なぜならば、女の子を描いている人間自体がロリコンなので、たいていロリコンの読者、視聴者と共通な願望を描くからである。

このようにして、現実の少女達と切り離された少女愛好は、人形愛好か、または二次元コンプレックスに移ってゆくのである。ただし、ここで注意しなければならないのは、ファッションの二次元コンプレックスである。現在のようにロリコンや二次コンが多くはびこる中には、ファッションのロリコン、二次コンが存在する。彼らは私の見た限りではあくまでも表面的な性愛の対象となる年齢について考えてみなければならない。まず、自分で育ててゆくからには年齢の低い女の子が対象となる。また、完全にセックスの対象として見るわけではないので、初潮前後の女の子が対象となる。しかし、異性として見るからには、やはり赤ん坊のように男も女もわからないようではいけない。このようなことから、対象年齢が5~14才程度に限られてくる。この対象年齢は完全に少女愛好と一致しており、よって父性愛は少女愛好へとつながって行くのである。

では、このような少女愛好は現代における病理的な現象の一つなのであろうか。いや、この感情は現代に始まったものではない。例えば「源氏物語」における光源氏の紫の上(光源氏との出逢いは数えで10歳)に対する愛情や「痴人の愛」におけるナオミ(「私」との出逢いは数えで15歳)に対する「私」の愛情などもこの現れである。また、ロマン文庫の「鏡の国のアリス」にも、この感情が現れていると思われる。よってこのような感情は、現代の病理的現象ではなく、古今東西を問わず、男性が少なからず持っているものである。

このように、少女愛好は決して変態的なものではなく、逆に



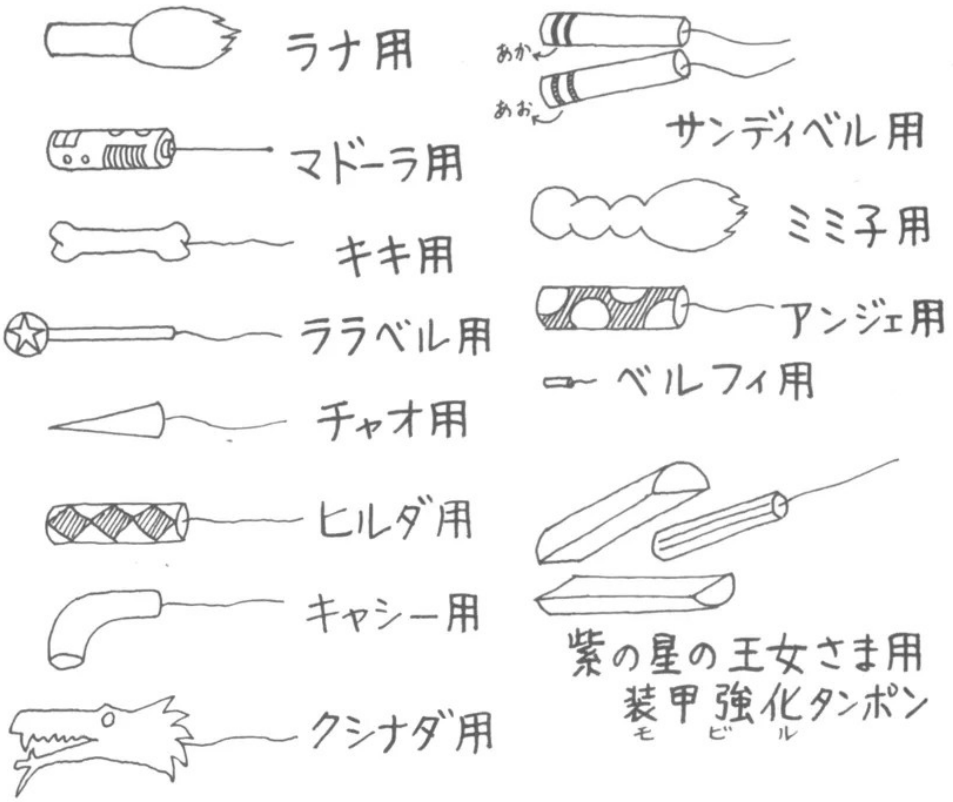
愛好家でしかないようである。(つまり、ちょっと見ただけで、可愛い顔をしているなどの理由から、○○ちゃん可愛いなどと騒ぐのである。)これらファッションの二次元コンプレックスの人々には、今述べた理論はあてはまらないように思われる。(たぶし、逆の方向に進む可能性があるかもしれない。)

ほとんどの男性が潜在的に持っているものなのである。そして、我々少女愛好家とは、単にたまたま早くからそれに目覚めてしまった者であり、世間で変態扱いされるのは不当である。

立ち上がろうではないか、少女愛好家諸君!もうコンプレックスなどという言葉は使わずに、堂々と胸をはって歩こうではないか!(それにつけても養女の欲しさよ…)

これからは タンポンも個性派時代!!

少女用新製品紹介



「ねえ、アンもタンポンにしたんですって?」
「ええ。でも完全に幸せとは言えないわ。ねえ、これなに色だと思う?」
「赤じゃないの?」
「これで私がなぜ完全に幸せじゃないかわかったでしょ。
ほかのことなら気にしないわ。そんなこと想像で忘れてしまえるもの。
私のあそこはばら色でクリトリスは真珠みたいだと思いこめるの。
でも赤い血はだめ。私の経血はつやつやかな黒だ、からすのぬれ羽色をしてるんだと一生けんめい心の中で思ってみるの。
でもやっぱり赤い色は消えてくれないので胸がはりさけそうになるの。
一生ついて回る悲しみでしょうね」
「……」
「ああ、だからダイアナ。私のことはEのついたつづりで呼んでちょうだい。
だってEのついたアンならアンネとも読めるんですもの」



幼女の肩にさわりたい

寺田融

「ロリコン」というと、その示す内容はあまりに多様で、最近ではその範囲など全くなくなったかのような感もうける。

それが現状である今、一方的に「ロリコン」を規定するのは実情に即さない危険が強い。しかし、ある程度の「示す内容」がなければ、本来特定の内容を示す「ロリコン」という言葉の存在意義さえあやふやになってしまう。ところが、ロリコンを述べるのに、よく、心理学面から「ロリコン」＝「ペドフィリア」として分析する向きが多い。逆に現状のように（一部の世界の中ではあるが）、「ロリコン」という言葉が、ほとんど無制限的に使われてしまっている。

無制限的使用としては、まず女子高生を含めたりする年齢的なものがあるが、これは「少女愛好学」で、14歳までと一応制限したので、ここでは質的程度的な分類をしたい。

まず、心理学的にペドフィリアと呼ばれる、適応異常としての「ロリコン」。一部の商業誌・同人誌が、「ロリコンの分析」と称し、「ロリコン＝ペドフィリア」として分析・解説しているようだ。しかし適応異常でない少女愛好は、心理学的には少女愛好になる必然性がないので、「病気」ではないという意味で、「趣味のロリコン」と呼びたい。元来「ロリコン」とは心理学用語ではないし、私としては現在のように、ペドフィリアとしての必要条件、即ち社会からの逃避とか原体験とか心的外傷などを必ずしも備えていなくても、病的（心理学的にでなく社会的に）と認められるほどに少女を愛好していれば（心理学的見地からでは「ペドフィリア」にはならないが）「ロリコン」と呼ぶ範囲に含めてもいいと思う。

つまり、「趣味のロリコン」の中でも、少女愛好が深化・本格化し、病的実質が備われば「ロリコン」と呼べるということである。

それに対し、少女愛好が病的なまでには深化していない、大多数の「趣味のロリコン」は、少女を愛好するということを全く趣味的に行っているのであり、成人女性との性的交渉、結婚生活に大きな影響は与えないのが実際である。このような者を「ロリコン」と呼べるか否かについては非常に難しいところである。（表面的には）確かに少女を愛好するが、本質的には全



イラスト　望月智充

く正常だからである。

さて、以上によりいわゆる「ロリコン」を「適応異常としてのロリコン」「趣味のロリコン」に大別し、更に「趣味のロリコン」の中で、病的実質の備るに至ったものは「ロリコン」と呼べると思う、と述べたのだが、実はそれ以外にも、最近の風潮の中で「ロリコン」と呼ばれたり自称したりしている者がいる。単なるアニメ・キャラ・ファンや、漫画等において「可愛い女の子」が好きなだけの人や、最近の風潮に安易に乗って、少女愛好の実質すらないのにロリコンぶったり、更にはそれによって「マイナーぶりごっこ」をする人々のことである。これらを「ファッションのロリコン」と呼びたい。「趣味のロリコン」では、たとえ本質的には正常で、全く趣味的なものでも、一応少女愛好の実質があったものの、「ファッションのロリコン」においては、本人が「ロリコン」と称していても、実際に少女愛好とは言い難い。



勿論、それがきっかけで本当に少女を愛するようになることもあるが、最近の風潮としては全く皮相的に騒いでいる人々が多いように思える。それはそれで構わないが、それらの人が「ロリコン」を称するのには問題があると思う。尚、「少女愛好学」での「要因の分類」で「趣味のロリコン」というのが出て来るが、あれとは分類の見地が多少異るので、この項でいう「趣味のロリコン」とは混同しないで欲しい。あれは要因による分析であり、「要因が趣味である」ロリコンとは、「少女が好き」というより「少女愛好が好き」というニュアンスであり、本項では概ね「ファッションのロリコン」に含まれる。（とはいえ、ややこしくなってしまったことは否めない）





イラスト 福田昇

女ののけぞり

木梨香寿代



世間一般の女性の、ロリコンに対する偏見は、かなり強いようだ。私の友人に言わせれば、ロリコン＝変態、もしくは、〝もてない男なのだそうだ。私は久しく、（ロリータ趣味の徘徊している）アニメ、マンガに接していたせいか、ロリコンに対する、そういう偏見はもっていなかったし、少々の免疫はできているつもりだった。が、初めてロリコンの実態に触れた時はやはりおどろいた。〝こどもブティック夏の号〟なる雑誌を見ながら、「このモデルがかわいい」「こっちの子の方がいい」などと言い合っている彼らを見て、私は一瞬、のけぞり、同時に〝彼らはマジでこういうことをやっているのだろうか〟という疑いと驚き、少々のあきれ、少々のおかしさがごっちゃになった、複雑な心境に陥ってしまったのだった。

最初のショック(?)からも立ち直り、今ではすっかりロリコンに対する免疫ができてしまった。現在の私は、ロリコンの存在を容認しているほどである。が、彼らを理解しているかというと、そうでもない。それどころか女性はロリコンを容認することはできても、本当に理解することはできないのではないか、と私は考えている。

なぜなら、女性が子供を見る時、どうしても、母性というものがつきまとうからだ。それは、女性が、〝ロリコンが子供を見る目〟という異次元の心境を理解する上で妨げとなる。（一般女性がロリコン＝変態と決めつけてしまうのもここからきている）それゆえ、ロリコンを認める程度に理解することができても、男性がロリコンに走る微妙な心理をすべて理解することは、女性には、到底不可能なのだ。早い話が、ロリコンの世界とは、女性の感性ではついてゆけない世界なのですよ。

なんと！女性の手になるロリコン論なのです!!

ともかく、ロリコンを容認しているとはいえ、一応女性である私にとって、ロリコンはやはり不可思議な存在だ。彼らは、私の目に、時には理想主義者として、時にはただの変人として映る。が、私の中には、彼らの一定した像というものがない。私には、いまだ彼らの本体がつかめないのだ。

そのせいか私のロリコンに対する関心は強くなるばかりで、最近では、（我ながら）恐しいことに、〝こうなったら、女性という立場から、彼らの行く末を見極めてみようじゃないか〟などということを考え始めている。〝たとえ彼らを理解することはできなくても、傍観者として彼らを見ることくらいは、女性である私にもできるだろうから〟と。



ルポ

喫茶「可愛い女の子」



女子小学生しかはいれない喫茶店があるときいて行ってみた。経営者は早稲田大学を卒業して2年目の吉木宏さんで、とに角女の子たちといつも話していられる仕事はないかと考えて、この「可愛い女の子」を思いたったそうだ。ジュース類、アイスクリーム、サンドイッチ、パフェ、ハンバーガーなどが普通の喫茶店の半額以下で、夕方や日曜には可愛い女の子たちでいっぱいになる。奥の方の席ではいつもビデオでアニメーションを見ることができ、こちらも女の子たちに大人気だった。明るい雰囲気の店である。場所は東京都中野区有須町一一一七。もちろん中に入ることはできないが、出入りする女の子たちを見ているだけで楽しい。

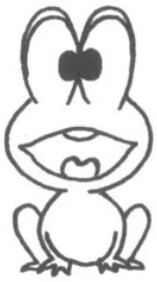
イラスト　望月智充

SPECIAL LITERARY REPORT

ど根性ガエルにおける「Aプロ調美少女」の研究



ど根性ガエルは、東京ムービー系の作品中、屈指のヒット作として数えられ、再放送の視聴率の高さでもルパンと双璧を成してるという。オバQの流れを汲む生活ギャグ、下町風情のリアルな表現、三コマアニメの至芸とも言うべき奔放な動き、(ヒトコマ作画もありましたが)などなど、その人気の秘密をさぐろうとすればいくらでも出てきそうな、仲々凝った作りの作品であった。〝アニメは時代の子〟という観方をするならば、根性という言葉が廃れつつあった時流に対する哀感さえ漂っていたことだろう。が、それはそれでよいとして、なにより忘れちゃいけない重要なことは、「ど根性ガエル」には正真正銘の美少女が出て来るということなのだ。この点において、「ど根性ガエル」は他のTVアニメの追従を許していないのである。彼女らを作り上げたAプロのスタッフに敬意を表し、(原作者と東京ムービーには申しわけないが、これはAプロの成した技である)ここに彼女らを〝Aプロ調美少女〟と名付け、ストーリーを交えて紹介させて頂く。



担当
小林和彦

みどりちゃん――哀愁の美少女

第19話「かわいいあの子」に登場。本名みやまみどり。中学一年生。成績は極めて優秀、美術部所属の画家志望、心やさしい可憐な乙女。あたしと違ってねっ。(これは京子のついた悪態)ピョン吉に思いを寄せ、転校する前に何とかピョン吉の絵を描こうとするが、内気なみどりちゃんはヒロシにそれを言い出すことが出来ないでいた。ヒロシはそんな彼女の様子を見て、てっきり自分に気があるものと思いこんでしまうのである。

枯葉散る校庭の片すみで少年を見つめる彼女の姿は、〝美少女〟という言葉の持つ一つのイメージである。そして、そのイメージは、ヒロシの興味の対象となり、京子のジェラシーの的となることによって、みどりちゃんが〝美少女〟であることを客観的な事実として確定し、我々に示すこととなる。彼女をめぐるドラマ性は多分に記号的であり、(決っして短編の単発ものであるためにしかたなく、というわけではないはず)優れた心理描写がなされているわけでもない。だが、〝美少女〟の要件とは、そういった事に拘わるものではないのである。(これについては後述)



やがて彼女は、京子を通してヒロシの前で絵筆をとることに成功する。そして完成されたピョン吉の絵を見て、ヒロシは初めて事の次第を悟るのである。(ここが一つのオチになってるわけだ)駅のホームでのみどりちゃんとの別れの場面では、なんと、ヒロシが彼女をひっしと抱きしめるシーンが用意されている。ここに来てヒロシは、今まで翻弄されてきた彼女を一瞬ではあるが支配することが出来たのだ。しかしこんなことがあってよいのだろうか。ひょっとして〝美少女〟だと思っていたみどりちゃんは唯の女の子だったのではなかろうか、と疑いたくなるところである。が、種をあかせば、美少女をも抱きしめることが出来る巧妙な理由をヒロシが持っていただけの話にすぎないのであった。(この巧妙さは、もちろん原作者の所産なのだが)しかしながら、彼がみどりちゃんを抱きしめたという事実。これは、誰にだって美少女を支配出来る瞬



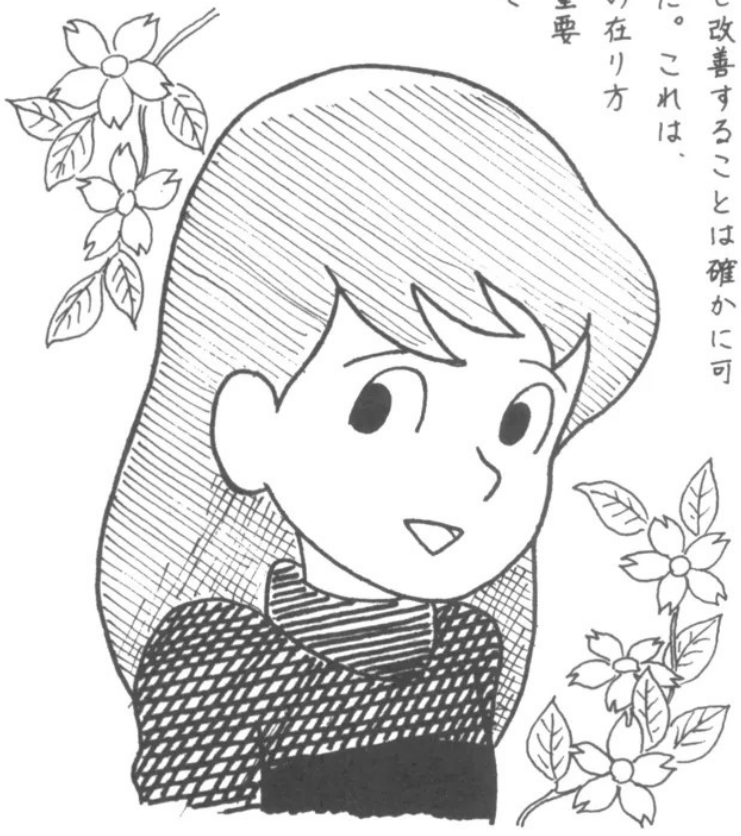
間はあるのだ、ということの証しとして覚えておきたい。



しずかちゃん——微笑みの美少女

第30話「さよなら京子ちゃん」に登場。中学二年生でヒロシの同級生。悪夢のような席替えで京子と離れたため悲嘆にくれるヒロシであったが、彼の隣りでそっと微笑んでみせたのがしずかちゃんである。どちらかというと単なるカワイコちゃん的な彼女も歴とした〝美少女〟。

ヒロシはしずかちゃんに興味を示すものの、今回はあくまでも京子の気をひくために彼女を利用することに終始する。嫉妬した京子は、福沢くんという天性のハンサムボーイにちょっかいを出してこれに対抗。やがて二人は激しい喧み合いを始めるが、しずかちゃんは福沢くんと仲良く連れ立ち去ってゆき、ヒロシと京子も仲を取り戻して隣りどうしになれるよう先生に嘆願に行く、というお話。「京子ちゃんが遠くへ行ってしまう」というヒロシのセリフが、実は唯の席替えを意味していたというオチ、これが話のポイントになってるわけで、しずかちゃんの役どころはさして重要ではない。彼女はヒロシの行動に対して微笑み、戸惑い、彼の現実の前に少しばかり影を落とすが、所詮は少年の前から過ぎ去るだけの存在でしかなかった。もちろん、ヒロシにとって、京子と離れたことに対するやるせない不安感は、美少女の存在以上に重要な問題だったわけで、彼の行ったしずかちゃんへの行為は空虚なものであったことは、彼自身わかっていたに違いない。しずかちゃんという一個の美少女は、彼にとっては〝美少女像〟であることで十分だったのだ。自ら働きかけはしない美少女に、関わるには関わったが、あまりにむなしい。しかし、彼女との〝関わり〟を契機として現実を打破し改善することは確かに可能なのだ。これは、美少女の在り方として重要なことである。



ヒロシから見たしずかちゃんこそ、まさに〝微笑みかけるだけの美しい存在〟という、我々にとっての美少女の典型像なのだとは言えないだろうか。

花子ちゃん——無垢なる美少女

中学二年生。ヒロシの隣りのクラスにいる女の子。登場話数は手元に資料がないので不明だが、全編中少なくとも二回は登場した。一回目はヒロシ、二回目はゴリライモと絡むもので、そのストーリーパターンは酷似している。曰く、美少女が自ら積極的に少年に働きかけ、少年をすっかり夢中にさせておいて最後に見事にはぐらかす、というもの。全くもって小悪魔的であり、いけない子であるように見えるのだが、彼女には少年を手玉にとるという意識は全くないのである。ただ無垢なる笑みを浮かべるだけなのだ。(彼女の行動様式は、後に登場する大林くに子ちゃんに発展してるように思える。)



肩を窄め、はずかしそうに俯いて目を閉じる…
可愛らしさや色気を表現する常套手段である。
このシーンを見て「わざとらしい色気ってのは
こういう事につかって下さい。」などと言う
のは愚かである。わざとらしさは微塵もない

さて二つの話のポイントは、ヒロシやゴリライモをその気にさせた彼女のそぶりは恋心を打ちあけるためではなく、実は愛犬を平面犬にして欲しいと頼むことでありゴリラ人形の店頭広告を務めて欲しいと頼むためであった、というものである。その事実がわかったところでオチになっている。

しかし、この程度のオチは原作でかたがついており、Aプロスタッフは当然別のところにエネルギーを注ぎ込んだに違いない。すなわち、〝少年と美少女との関わり合いはどこまで実現可能なのか〟という問題を据え、その点のみに集中してくれたように思われるのである。これは特に〝ゴリライモの回〟の方に明確な形となって表われている。美少女を支配出来る我が身に酔いしれるゴリライモ——

ここでちょっと〝デザイン〟の話。

実はこの原稿を書いてる最中にど根性ガエルPART2の番宣を見てしまった。いやまったくけしからんものである。Aプロど根性がエルスタッフのあのデザイン感覚はいったいどこへ行ってしまったんでしょうね。うっうっ。小林治氏も罪なことするな〜。

Aプロデザインの特徴はシンプルさにある。どんなにドアップになっても目にはまつ毛もハイライトもなく、耳はのっぺら(指は4本)それなのにこれだけかわいらしさを表現できるのだから、これはもう奇跡としか言いようがない。が、その奇跡の秘密はどうやら〝曲線美〟にあるようだ。曲線の巧みな配合が質感や量感を適確に表現しきっているのである。そして飾りけのない真の美しさが表われるのである。あのほっぺたの柔らかさ。女の子の着てるセーターの柔らかさ。ピョン吉が女の子に着てもらう時感じるぬくもりが、こちらにまで伝わってくるようではないか。うう〜たまらん。



競演〝Aプロの曲線美〟



実際彼の喜びようの表現はすさまじく、執拗を極めていた——と、美少女花子ちゃんは、お互いに座標がずれていたものの決してすれ違うことのない接点を持っていたのは、まさしく事実。しかし、自分の意図していたものとは全く違うふれ合い方しか出来なかった彼は、大粒の涙を光らせる。彼の涙は、ストーリーが専ら少年の視点から進められたことによって、己れの美少女像の所産なのだということを、我々に示してくれている。にも拘わらず、自分の持つ美少女像に身を委ねることこそが、美少女とふれ合うための唯一の条件なのである。ヒロシもゴリライモも、花子ちゃんと関わり合いになれることを現実として受けとめたことで、十分幸福感を味わえたのだ。そして、実際に関わり合ってみた時に、己れの美少女像が所詮美少女像にすぎないことを悟るのである。そして、彼女は依然として美少女であることも。

しかし、〃ゴリライモの回〃には、ラストに素晴らしいオチが用意されていた。(ヒロシの回は、彼が平面犬の製作に奮闘努力するところで終っている。)花子ちゃんが感謝の意をこめてゴリライモにキスをするのである。彼はまたも予期せぬメに遭い、卒倒する。まことに美少女とは〃善きもの〃であるばかりか〃予期せぬもの〃でもあるわけで、美少女とのふれ合いを求める者に希望を持たせてくれるシーンであった。もっとも、その瞬間、花子ちゃんが美少女から唯の女の子へ変わってしまったように見えたことは否めないのだが。

京子ちゃん・くに子ちゃん

この二人については割愛させて頂く。ヒジョーに魅力あるキャラクターであり、私としても彼女らを無視してロットリングを進めるにあたってはうしろ髪を引かれる思いでいっぱいなのだが、どうも断念せざるを得ない気配が濃厚なのである。というのも、この二人について語ろうとすると、相当の紙面を使うことになってしまいそうだし、なにより、今回の〃美少女〃というテーマに沿って彼女らを描く事が私にはどうしても出来そうにない。美少女という呪縛から解放させて彼女らを見つめていたいのだ。ということで、不満を持たれる方には、次回のアニコムを期待していて下さい、とだけ申し上げておく。



手抜きじゃないんだよ。

結び

以上、些か偏執的な文章になってしまったような気もするが、ど根性ガエルにおける〝美少女〟の意味がわかってもらえたであろうか。(どうも私の舌足らずの表現では、うまく言い表わすことが出来ていないようで、情けない。)で、今回このような特集を組んだのは、本音を暴露すると、私の抱いている〝美少女〟に対する妄想をさらけ出すための格好の材料がど根性ガエルの中にあったためでもあるのだが、同時に、我が愛する京子ちゃんとくに子ちゃんについて語るより先に何としても彼女達の方を片付けておきたかったためでもあるのだ。

ということを前置とさせて頂いて、結びに入る。

ど根性ガエルは、彼女達が美少女であることを得得と描き出してみせようとはしていない。ただ彼女らが始めから美少女として登場していることを我々にわからせてくれるような描き方をしているだけなのである。彼女達のからだに、美少女の血が脈々と流れていることは、確かな事実なのだ。そして彼女らは嬉しいことに、吾妻ひでおが描くような、作者の願望が憑依して心の底では男の目を気にしている少女達(それが悪いとは言わぬが)とは違い、我々には目もくれずに自分を頼りに息づいているのである。もっともこれは、吉沢やすみからAプロへと、〝製作〟のステップが踏まれているものとそうでないものとの差から生じる違いなのかもしれない。……にしても、吾妻ひでおの描き出す少女にうつつを抜かす自分の姿には我慢ならない時があるのに対し、Aプロ調美少女には何のためらいもなくのめり込むことが出来るのだ。

〝美少女を描く〟というのは、女の子をして美少女たらしめるための過程を描くのではなく、揺るがすことのかなわぬ美少女であるということをどう表現するか、にかかっている——これぞAプロ調美少女を描くにあたっての鉄則である。〝美少女〟とは、客体としての見る側にとってのみ意味をなす言葉であり、主体としての彼女らにとって、それは拘束以外の何物でもない。美少女というレッテルは、それを貼られた者には如何ともし難いものであり、適当な言葉ではないがそれは一種の〝のろい〟とでも言うべきものではないかという気がするのだ。(ガンバの冒険のノロイに美しさを感じる者がいるならば、それは彼が始めからのろわれた存在として描かれていたからなのだ)だから、アニメーションにしろ実写にしろ、少女がその〝のろい〟を受ける過程を描き出すことは、質のいいオカルト映画を作るためには申し分なかろうが、そんな代物は願い下げなのである。と言って、OUTでS氏の主張する〝ドラマ性重視〟を押し通した結果生まれてくるのは、いじらしいとか健気なとか可愛らしいとかいった類の生々しくも存在感に溢れる女の子だけであり、〝美少女〟は決して生まれ得ないのである、と言わざるを得ない。兎に角、ど根性ガエルにおけるAプロ調美少女こそ真の美少女キャラクターである。これだけは断固として肯定せねばならないのである。これ以上美少女に拘泥っていては、SFに拘泥る某氏の如きになりかねないので、これを以って〝ど根性ガエルにおけるAプロ調美少女の研究〟を終わらせて頂く。謝謝。

かわいい
女子小学制服

STYLE COLLECTION 都内版

6~12歳用

イラスト　福田　昇



（夏　服）　（春　服）


雙葉小
タイ・赤
ライン・赤
ソックス・黒
国立学園小
成蹊小
＊セーラーの別タイプも確認。
文教大付属
立正小
リボン・えんじ
ライン・えんじ
タイ・赤
光塩女子学院初等科
タイ・青とシルバー
うすえび茶色
東京教育大付属小
帽子・白
水色ワンピース

学習院初等科



清明学園初等



川村小



お茶の水女子大付属小 *かばんはショルダーの児が多い.



東京女学館小 *"ヤカタ"といい、ひときわ目立つその制服は都内のロリコンたちを狂わせている.



青山学院初等部







（このページのために別アのスタッフのうち四人は、カメラを片手に下校時の女子小学生（の制服）を一ヶ月かけて撮影して回った。その間に発生したいくつかのエピソードのひとつを、N記者の手記から紹介しよう。）

＊　＊　＊

吉祥寺の成蹊学園は、小学生はバス通学しているみたいで、結局構内に入っていくことにした。そこは大・高・中・小と同じ構内にあり、案内板をたどって小学校の方へ向ったら三人連れの2・3年位の女の子が来た。さっそくカメラをかまえてパシャリとやったら、それまでキャーキャー騒いでいた幼女らは突然ビクッとして「あれ～あたしたち撮られたのかなー」とか「あたしたち撮ったのー」とかやり始めたが私はさらに小学校の校舎に進んでいった。そこでは女子小学生たちがボール遊びをしていて、あまり近づくと目立つので遠くから眺めているだけにした。どうも彼女らの帰りの群れに出会わないと思ったら放課後遊んでいたのか……。10分ぐらい眺めてて全然帰宅する児がいないので失望して帰ろうとしたら、途中の構内で前の方に三人連れの女子小学生がいたので前に回ってパシャリとやったら、な、なんとさっき撮った女児たちだった。私はあわてて足早に立ち去ろうとしたら、後の方から「ちょっとカメラの人ー」と三人で追いかけてきた。「ねえ、なんであたしたちなんか撮るのー」「わかったゆーかいするんだ」とか騒いで「成蹊の証明書（学生証のこと）見せろー」とか言いかけるので、早稲田の学生証をパッと見せてすぐしまった。小学生たちは「あーほんとだー」とか言ったのだが中の一人が「もっとよく見せなさーい」というのであせってしまった。それで「大学生はおそろしー」とか「カメラ貸しな、撮ってやる」とか門のとこまでつきまとわれて、いろいろ手をつままれたり服をつままれたりしていい気持でいたのだが、門のところを通過しようとした折も折、別の五、六人の女子小学生の一群に向って例の三人が、「みんなー、この人写真撮るんだよ」と言い、その五、六人がバラバラと私の周りに集ってきた。これはやばい！　門のところで守衛がこっちを見てるし、私の周りには計十人近い幼女がキャッキャッと私のことを話し合っている。これはいかん。守衛に不審がられて学生証を見せろとか言われたら栄光の早稲田アニ同の名に傷がついてしまう。私は小走りにその場から逃げ、構外へ出てすぐさま近くの曲り角を曲ったのであった――。

おまけ

23話「無人島の休日」にでてきたフローネのセーラー服



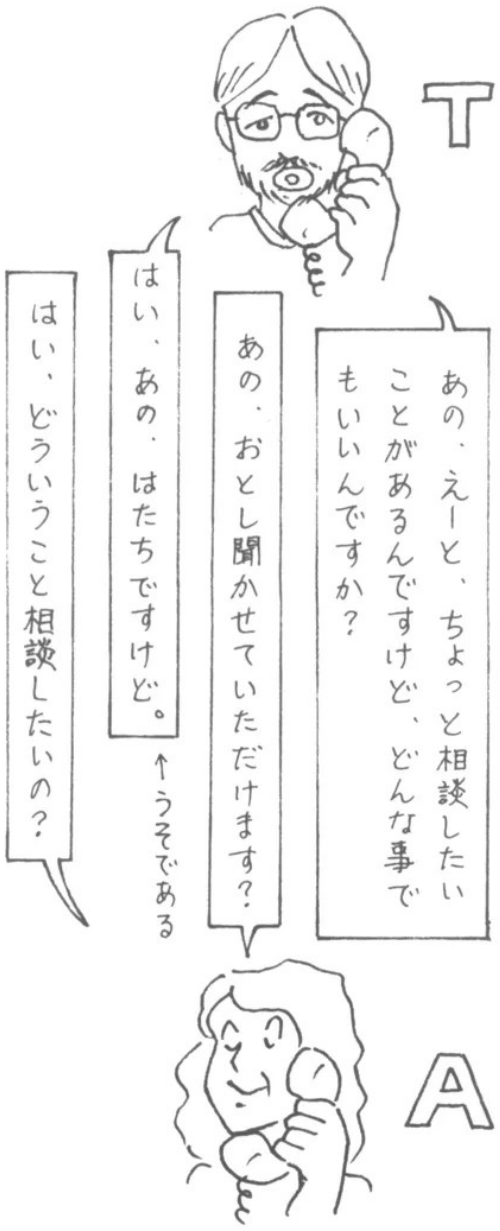
少女趣味で悩む人にひとつの回答が与えられたのだろうか？

いのちの電話相談記録



人に言えない悩み事があるとき、ダイヤルさえすればどんなことでも女性相談員が応じてくれる、それが「いのちの電話」である。この「いのちの電話」が「ロリータコンプレックス」に対していかなる回答を与えてくれるか、別ア編集部では早速実験してみることにした。実際に電話をかける大役を演じたのは、早稲田アニ同の中でも特に、少女趣味、変態的行動、暗い性格、の三拍子がそろった丁君。まさに適任である。8月24日夕方、実験開始。以下はその全記録である。

（Tは丁君、Aは相談員のおばさん）



えっと、ちょっと、女性のことなんですけど。

↑聞きとれない

え？　ちょっと電話が遠いもんで！

↑本当に遠かった

女性のことで、どういう御相談ですか？



あ、はい、女性っていうか性格的なことなんですけど……えーと……

あなたのガールフレンドのこと？

↑そんなもんがいたら苦労せん



T

いや、そういうんじゃないんですよ。何ていうのか……自分と同じ位の年の女性っていうのに興味持てないんですよね、全然。

同じ位の……。クラスの女の子とか？



A

ええ、そうなんです。

→どうして大学生とわかったのだろう。年を言っただけなのに……

それで友達やなんかとも、そういうので話が合わないんですよね。女性のことなんかで。

はい

それで、えっとこんなこと言っていいのかな……少し……小さい女の子でないと

は？

そう、しょ、小学生位の子に興味があるんです。

↑完全にあがっている

それは「可愛いな」っていうことでしょ？



A

いや、初めは自分でもそういうつもりだったんですけど……ただ可愛いだけで……でもそれだけじゃないような気がするようになって。

同じ位の年の女の人に興味持てないって、どういう理由なのかしら。



T

なんていうか、体質的、みたいなものですけど。近づいて来られるだけでもいい感じしないんです。

近くに居るだけで？

それで……そういう小さい子なんかを、ただ可愛いっていうふうに見ている分にはよかったんですけど……それだけじゃないって気がついたんですよね。

それは、そういった小さい子を セックスの対象として 考えているってこと？

そうです。

でも、それはいけないことよね。

ひえーっ！いけないことだったのか！

子供を見て普通に可愛いっていうのとはまるで違うでしょう。

T

そうなんです。

それで、別に変なこととかそういうことはしない自信がかなりあったんですけど、なんか最近自信がなくなってきたんです。……いとこが時々遊びに来るんですよね。小学3年の。それで一緒に遊んでたりすると……

誘惑を感じてしまうのね？

そうです。

小さい子は遊んであげれば、やさしいお兄ちゃん、て、ただ甘えてくるでしょうね。

うーん、そうなんですよね。はねつける能力がないんですよね、むこうは。で、うーん何て言ったらいいかわかんないな。本当に原因もわからないしどうしようもないんですよ。

そう……。でもあなたの方の事情がどうであろうと、問題はそういう女の子は何も知らないんだということでしょう？

そうです。勿論、罪悪感はあります。

↑本当は全然ない

……

それで、これから脱するか、他の方にすりかえる事ができればいいんだけど、それが何か見つからないし。

↑こんなこと全然思ってない

A

ええと問題をはっきりさせたいんですけれど、つまり同じ年頃の女性には興味が持てない……で、小さな女の子に性欲を感じてしまって、どうしたらいいのか自分でわからない。でも、自分で自分を抑えておくことはできるのね？

平気だと思うんですけど、時々不安になるんですよね。ちょうど今みたいに。

でも、それは一人で空想するだけで実際には何もないんでしょう、そういう子たちに？　肉体的に何か……

あ、そうです。別に実際には何もやってません。

頭の中だけでのことなのよね

そうです。

でも現実に女の子にそんなことしたら、いやなおじさんだと思われちゃうでしょうね。汚ないって嫌われるでしょう？

そうですね。

でね、もうはたちだって言ってたでしょう。理性で抑えられないかしら、そういうのは。欲望のままに動くんじゃ駄目でしょう？

そうですね。……じゃあ結局、自分の、抑制にかかっていると？

もし、ただ可愛いっていう位の段階に戻れれば、あと問題はないでしょうか。

そうね……。

戻れればね。……大丈夫でしょう？

戻れるわけない

あんまし回答になっとらんような気がする

T

あたりまえだ——！

A

はい。じゃあどうもありがとうございました。

いいえ。

参考になりましたでしょうか……



いのちの電話は

03-264-4343 です

（いたずら電話はやめましょう）

少女イラスト　福山慶子

シャポシニコワよさようなら

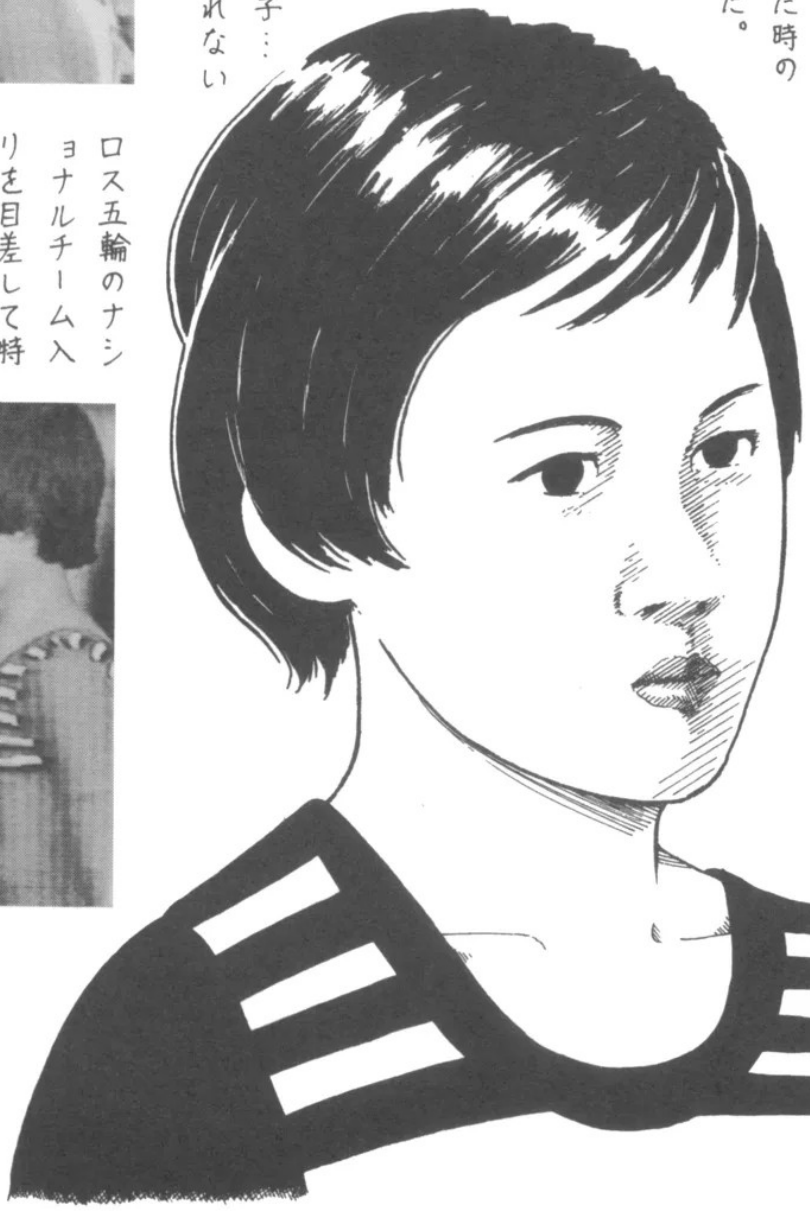
今、ターゲットはタチアナ＝キム

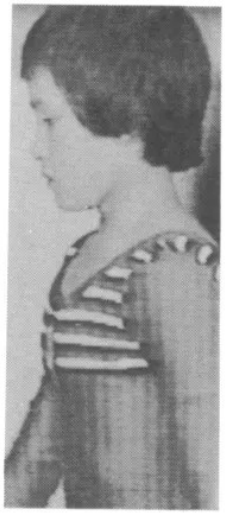


高度な技が要求される演技の中で〝少女の美〟を表現出来る力を持っている子。失敗しても決して肩を落とさない芯の強い子。東洋的で哀愁を帯びた何ともまらない顔立ちをした子…今、注目せずにはいられない少女である。



初めてこの子の姿を見た時の印象は強烈なものだった。





ロス五輪のナショナルチーム入りを目差して特訓中。

少女盛りの12歳！



イラスト 福田昇

タチアナ＝キム プロフィール

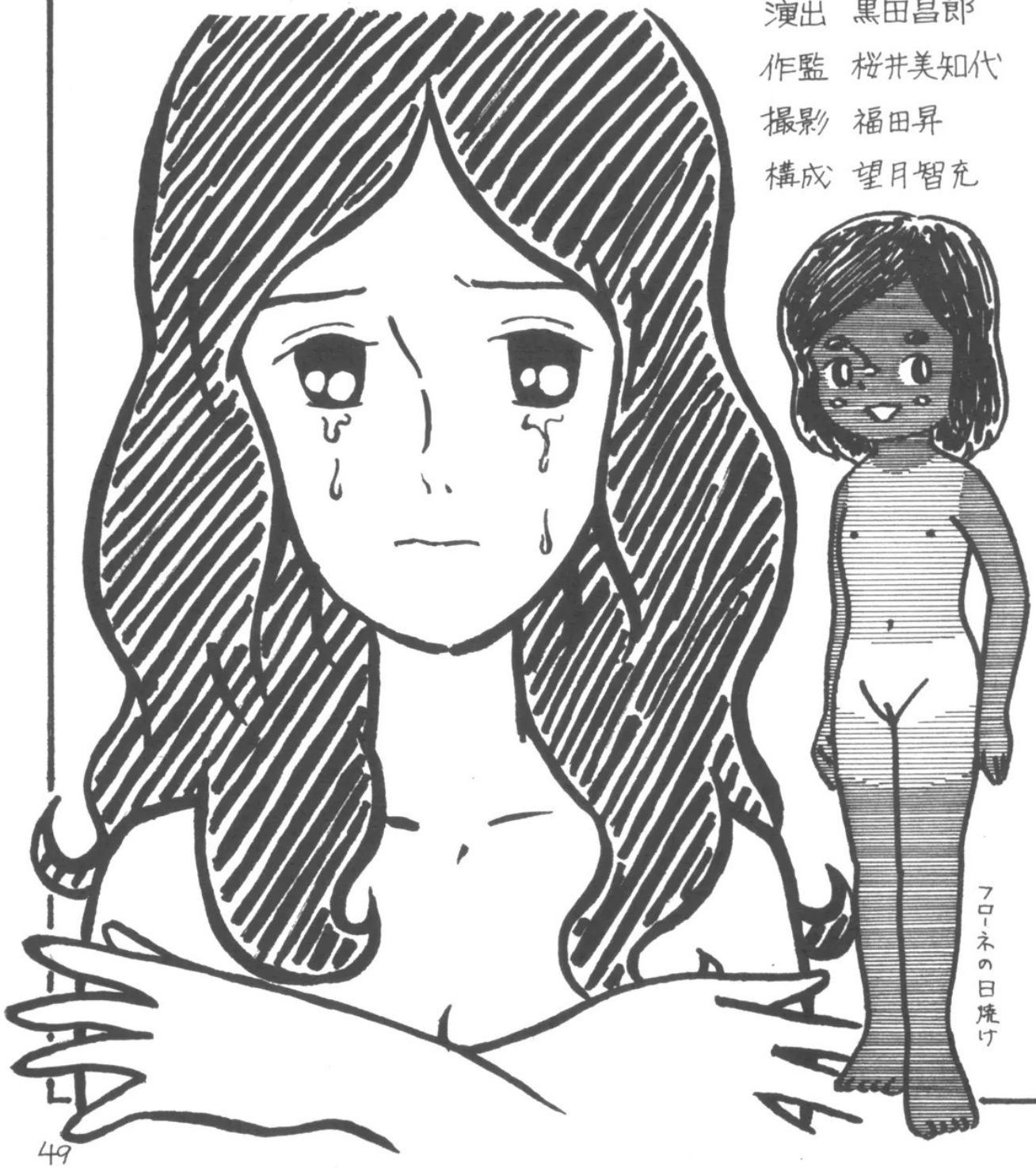
1969年6月生まれ　ロシアと韓国の混血　ソビエト女子ジュニア体操チャンピオン

アニメ・コミックス

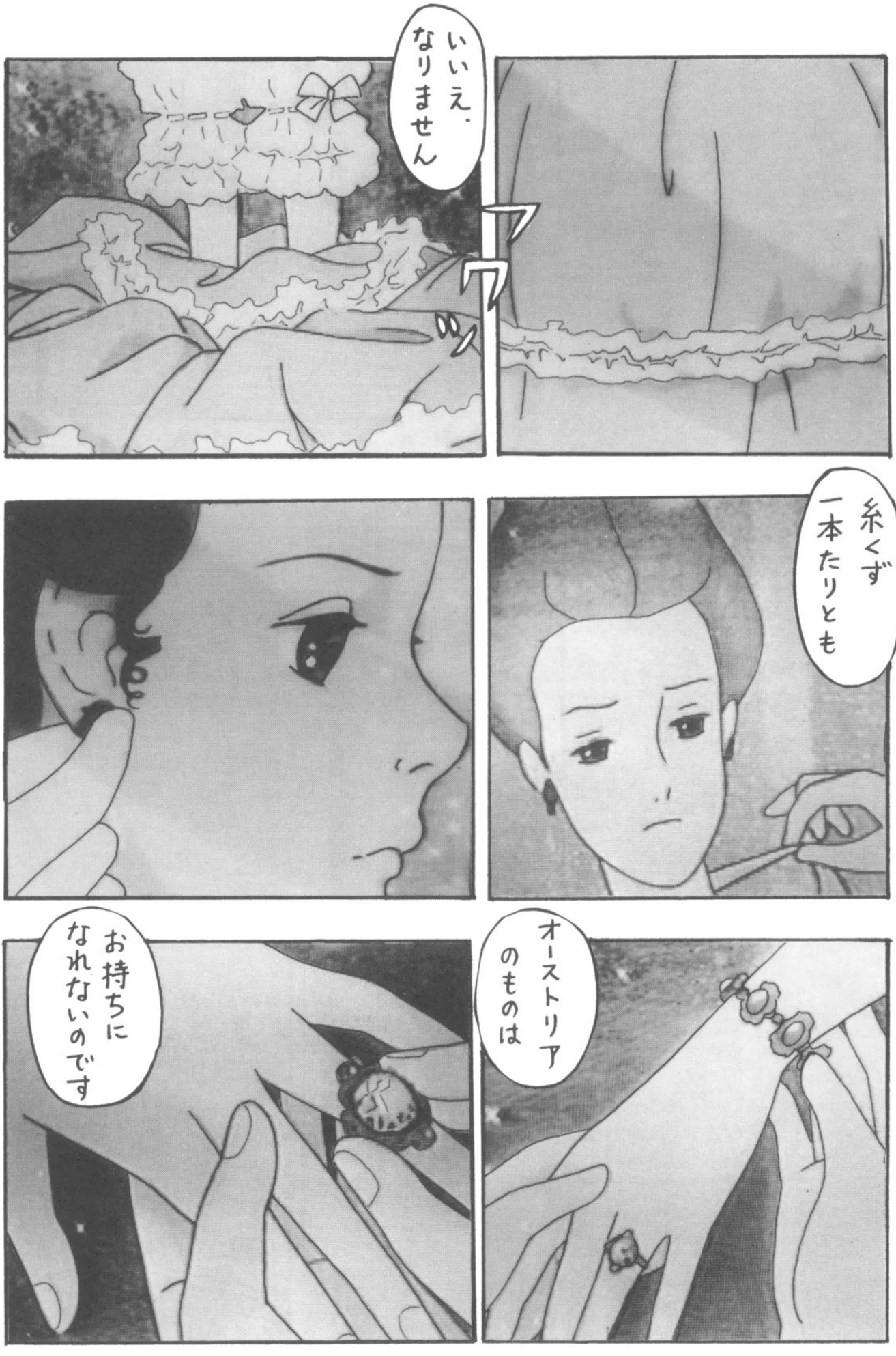
マリー・アントワネットの花嫁引渡し式

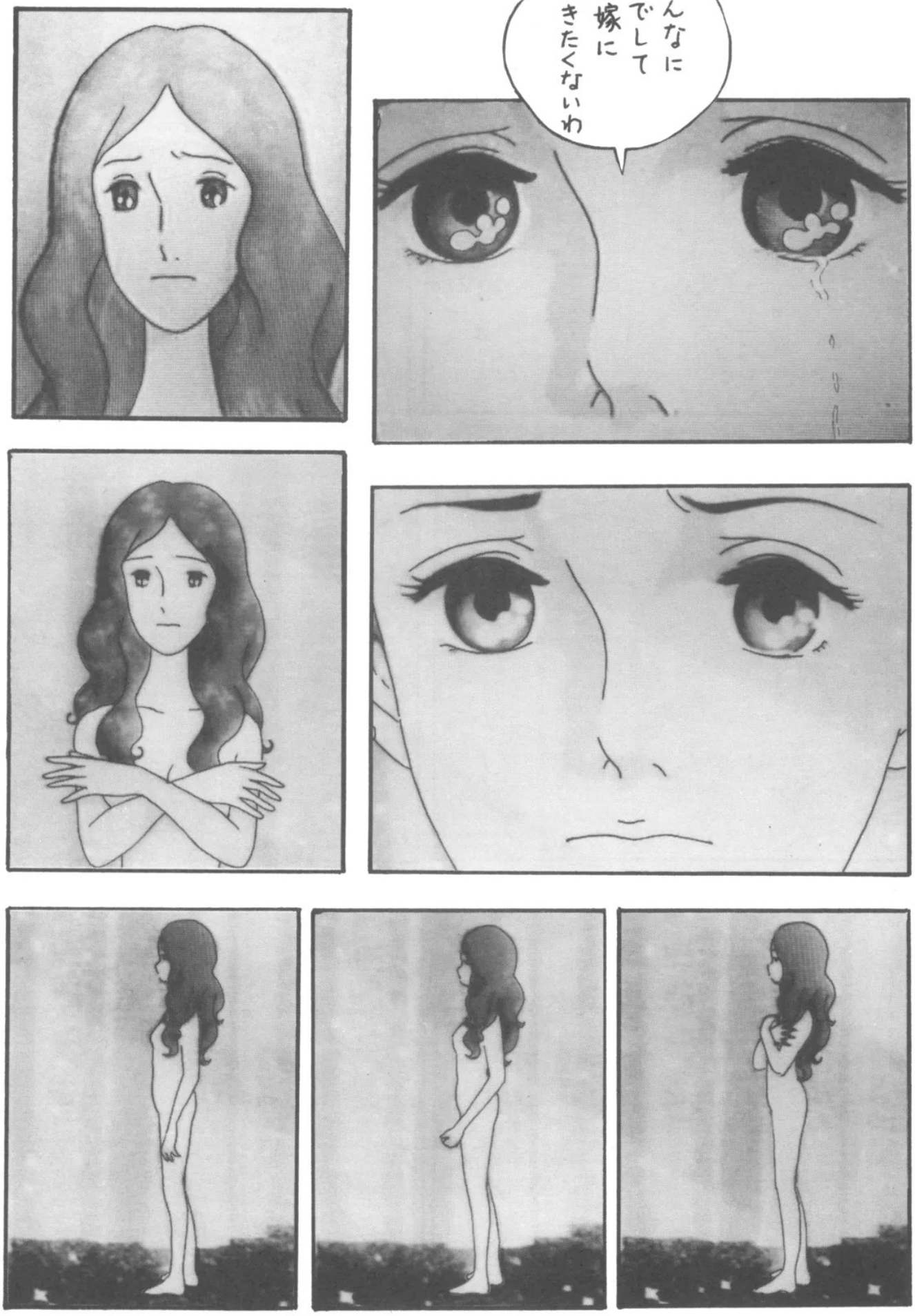
「ふしぎな島のフローネ」第3話（56年1月18日放映）より

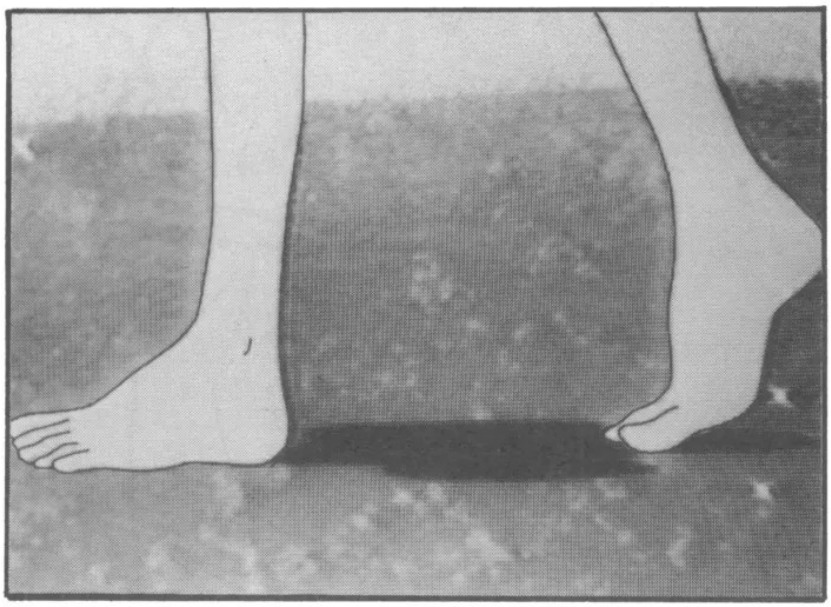
演出　黒田昌郎
作監　桜井美知代
撮影　福田昇
構成　望月智充




ぱらっ
あら
何するのよ
殿下
あなたはこれから
フランスの人間に
なられるのです
オーストリアの物は
何一つ
お持ちに
なれないのです
着ている
ものぐらい
いいでしょ？

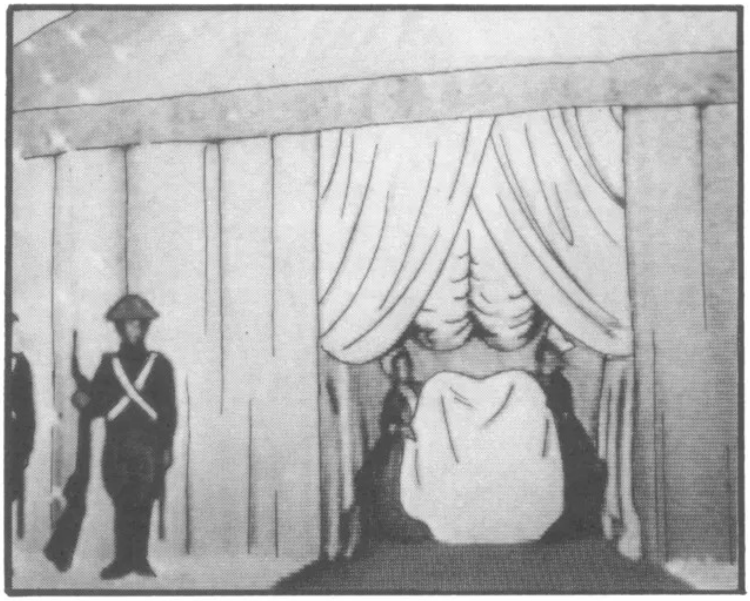

いいえ.
なりません
糸くず
一本たりとも
オーストリアのものは
お持ちになれないのです

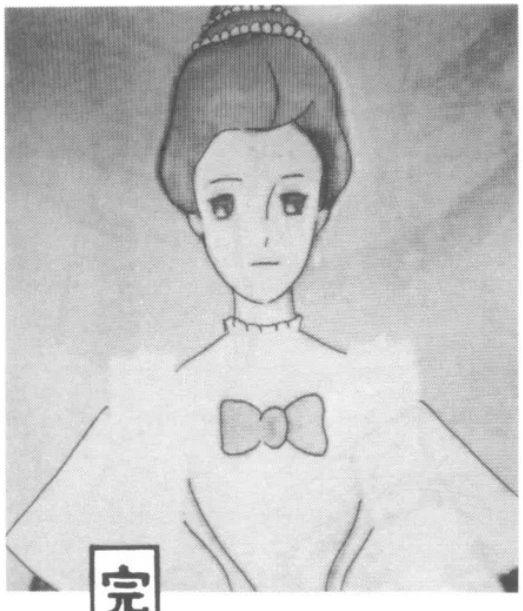

こんなにまでしてお嫁に行きたくないわ

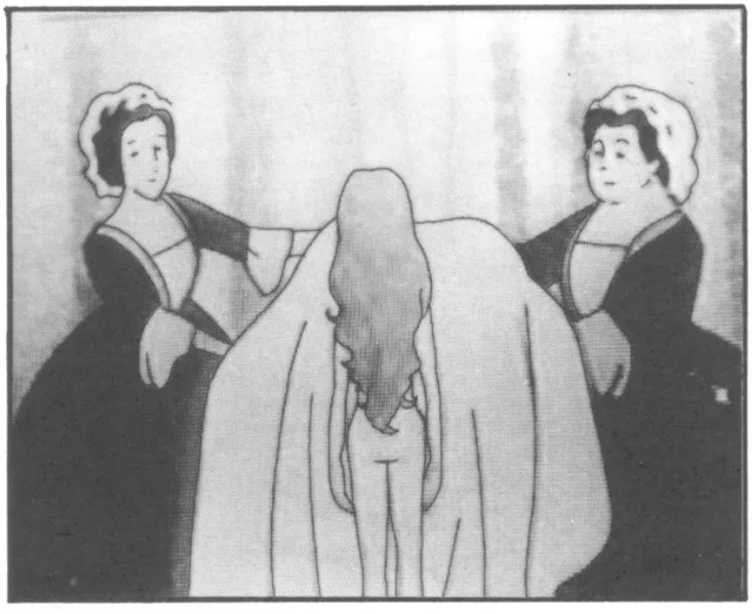









完



アルバム

おにいさんといっしょ



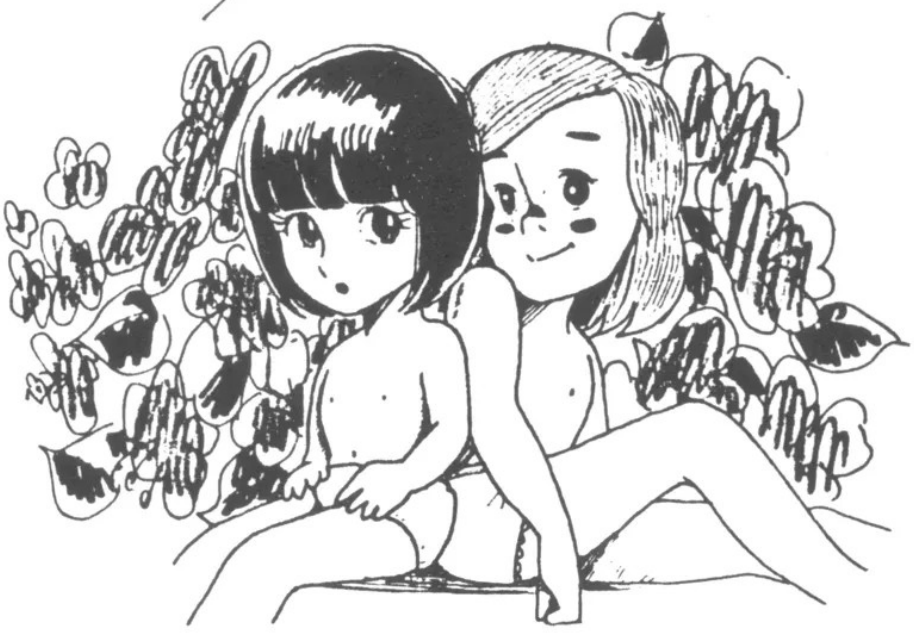


イラスト
望月智充

私は正常

半·径子

1



単に幼女愛好といっても、その心理的な構造は次のようないくつかの型に分けられるであろう。

1. 代償としての幼女愛好　社会的、現実的に自分の欲求が満足されないため、幼女によってそれを解消しようとする。㈠性欲の解消　㈡保護欲の解消　㈢自己表現欲の解消など。

2. 退行としての幼女愛好　現実生活の厳しさに不安をいだいたり、夢多き時代にあこがれを持ち、精神が少年時代に逆行し、少年の性、愛の対象として幼女をとらえるタイプ。

3. 欲求過剰による幼女愛好　性欲や支配欲（食欲？）などが非常に強いため、一般的な対象物にとどまらず、もしくは一般的対象物以上に、幼女を攻撃的に支配していこうとする情性欠如型。

右の3つとはやや異るが、

4. 純粋な意義を持つ幼女愛好　不安に対する防衛によって生じた心理構造ではなく、意識的な方向を持った行動である。宗教的な理由や芸術上や心理学上の研究心によるもの。

細かい分類はあまり意味がないが、一人の幼女愛好者においてこれらの要因のうちどれが支配的であるかは容易に分析できるはずである。これから述べようと思う幼女愛好は、4.は別として最も創造性に富むといえる2.の幼女愛好である。1.㈢において表現されるものは、一般的な大人ならだれでも持ちうる能力でしかない。また、1.の者にとって幼女以外の代償物（例えば恋人や妻）が得られれば、幼女に対する欲求も解消されるのに対して、2.の者にとっては幼女であることの必然性が強い。

したがって、純粋な意味での幼女愛好は2.のタイプ（4.は別として）といえるからである。

2

以下で述べるロリコンとは右の分類上2.の幼女愛好タイプのことである。ロリコンはそれぞれの小児時代の感性によって構成される。つまり、ロリコンが芽生えるためには小学生時代に空想的で創造的であったことが必要である。いわゆる分裂性気質といわれ生まじめ、頑固、自然を好み、繊細で傷つきやすい、体型でいえば細長型が多い。

彼はたいていなんらかの劣等感で悩んでいるが、その反面、それをおぎなおうとする欲求がたいへん強い。それは当然同学年の女性、つまり女子小学生にも向けられるが、そんな欲求が満たされるということはない。この時のあこがれが大きい者ほど、後になってより強いロリコンを形成する可能性を持つ。こういった小児の時の欲求は彼が成長するにつれ、潜在下におろされ、別のものに欲求が向うものである。例えば中、高時代なら、セーラー服の女学生にあこがれていくようになる。（この欲求が強い者は後にセーラー服嗜好者となる可能性が大きいわけである）

さて、奥深くしまわれていたこのような小学生時代の欲求が何らかのきっかけで主体性を左右するまでに意識下に表われてくることがある。これをロリコンというのであって、つまりロリコンとは潜在意識をさすのであって意識的なロリコンは存



在しない。彼が心の中を照らせばその無意識の領域に口リコンがひっそりとうずくまっているのである。

口リコンが意識下に現れるきっかけは、アニメや小説、マンガ、実際の幼女とのつき合い、などいろいろ考えられる。例えばアニメなら〝少年が少女を救う冒険もの〟が口リコンをひきだしやすいことは以上のことから分るであろう。しかし、いずれにしろ、小学生時代に口リコンの種がまかれたかどうかが彼が口リコンになるかどうかを決定するのである。

3

先にいったとおり、口リコンは無意識の領域に存在する。したがって、アニマのように創造性と破壊性を持ちうる。アニマと大きく異る点は、アニマは母親によって形成されるということである。

〝無意識との関係をうちたてるためには自我が十分に確立されていることが絶対必要であり、そうすれば自我は無意識から圧倒されたりかき消されたりすることはありえず、無意識と関わりを持つ際の危険をまぬがれる〟

彼が口リコンに征服されて、現実世界に口リコンを投影した時、彼は女子小学生のとりこになって、社会的不適応をきたすであろう。もしも彼が口リコンから精神的な力をひきだせるようになれば、その力は彼が創造力のある人間である場合、その才能を助け、個性を成長させるであろう。なぜなら口リコンは彼に空想的で自由な少年時代をよびおこすからである。いつの時代もどんな世界でも夢多き少年がいる限り、大人になった彼らからは口リコンが生まれ出ることであろう。

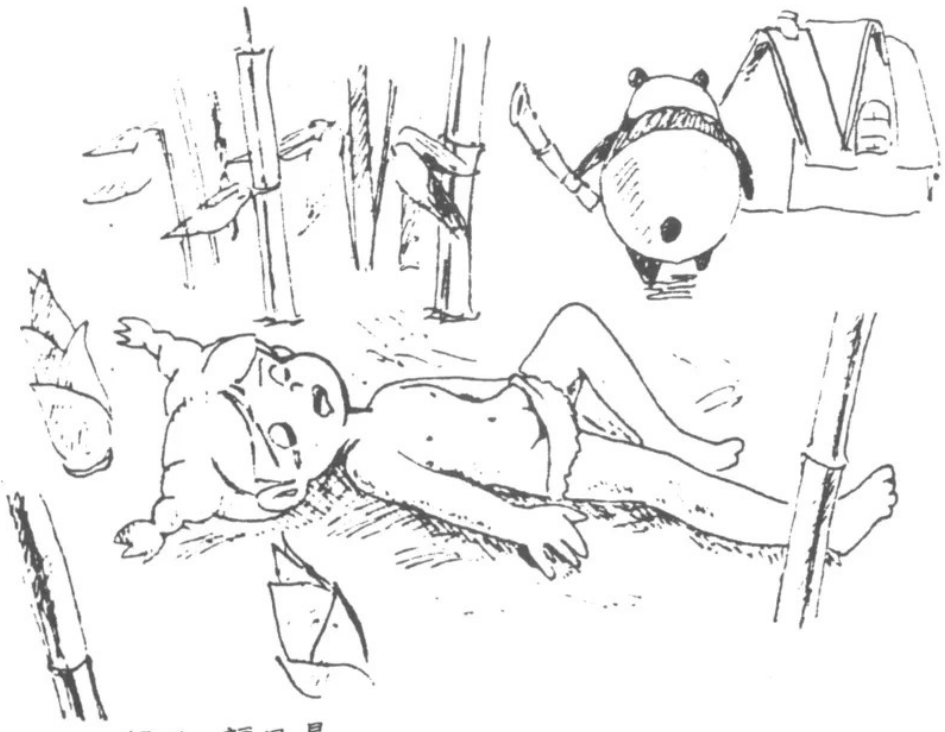


イラスト　福田昇

幼女少女大事典



執筆
尾崎浩正
小林和彦
田崎康博
寺田融
寺田洋一
福田昇
望月智充

イラスト
福山慶子

あ

ああっ……　幼女のよがり声。

赤い毛糸のパンツ　冬になると小学校低・中学年の女の子がはく大変かわいいパンツ。時時クマちゃんのアップリケつきのがある。からっ風に吹かれてスカートがめくれたとき、チラッと見えるのが大変いい。特に白いものがはみ出して見えているときは最高。

朝日生命体操クラブのコスチューム　地は赤ワイト。ブルーとレッドのエリアが躰の前面を縦に走る。緩やかな斜めのカーブである。半袖の裾に同じくブルーとレッドの縁どり。胸に朝日生命のマークが愛らしい。単調な単色を避けたデザインだが派手にならず清楚で、少女の初々しさに相応しい。日本体操クラブ、池上体操クラブ、スイトピア体操クラブ……どこのコスチュームよりもすてき。



脚　俗人の場合と同じでロリコンにも色々と好みがあり、細くなくてはいけない人もいれば少し太めでないといけない人もいる。但しぶっとくないといけないという人は見たことがない。

アニメーション　実写のドラマで女児のパンツがちらっと見えたとしてもそれは単なるアクシデントに過ぎない。しかしアニメにおいては、たとえ一瞬のパンチラといえども、演出↓原動画↓仕上↓撮影を経てきたものなのである。アニメ製作者たちの異常さをそこはかとなく感じないだろうか。

アルコール　クロロホルムや睡眠薬は副作用があるし、何といっても抵抗力の弱い幼女には避けたい。眠らせたい場合は、うんと遊ばせて疲れさせたあとで、ジュースに少量の酒を混ぜて与えるのがよい。幼女ならそれで充分効果がある。その際問題なのはアルコールの匂いであるが、マックシェイク式の、ふたにストローを刺す形式のカップを使えば気づかれずにすむ。

暗雲　赤毛のアンのうんち。

アンクル・トリス　アンのクリトリス。

アンケート　アンの毛糸のパンツ。

アンダーウェア　アンの下着。

アンダードレス　アンのペチコート。

アンダーライン　アンの下着のライン。

暗中摸索　アンの中を手探りすること。

アンティーク　アンのクラシックズロース。

アンテナ　アンの性感帯。

アント　アンの蟻のとわたり。

アンドロイド　アン型のダッチワイフ。

アンニュイ　アンの生理日。

アンネ　アンのアンネ。

あんパン　アンのパンツ。

アンビリカス　アンのおへそ。

アンポンタン　アンのタンポン。

按摩　アンのマッサージ。

暗幕　アンの処女膜。

あんみつ　アンの愛液。

アンモニア　アンのおしっこ。

アンモン貝　アンの門のはまぐり。

い

いのちの電話　本誌のために丁氏が電話したところ。普通は幼女とは何の関係もない。

妹　自分と年の離れた妹を持つ人は幸いである。家庭への愛情は倍になる。妹のいない人、妹の年齢が高い人は不幸である。家庭の魅力は半減する。

いやーっ　身をよじって逃げようとする幼女の悲鳴。

う

運動会　女子小学生たちが、日頃体育の時間にみがいたブルマー美を競い合う大会で、父兄のみならず誰が見に行っても変な目で見られたりしない結構な行事。しかも写真撮影まで自由である。

え

エプロンドレス　を着た子をだっこしたい。ミルクの匂いを感じさせる、私の一番好きな服である。

えんぴつ　女子小学生はえんぴつを使うが、中学生になると万年筆でかくようになる。

お

お医者さんごっこ　子供にみられる「ごっこ遊び」の一つ。普通男の子がお医者さん、女の子が患者に扮する。両方女の子というのも好ましいが両方男の子というのは勘弁して欲しい。やり方は、患者がパンツを脱ぎ医者が診察する。私の育った地方都市の診察内容は、「おしりの注射」というのが一般的だった。

お菓子　子供をお菓子で手なづけたり誘ったりするのは最もオーソドックスな手である。また、幼女の方から逆にお菓子をくれることもある。これは多少なりとも親近感を持ってくれていることだから、自信をもって積極的に行動すべきである。

おかっぱ　ちょっと前の女の子はよくこの髪型をしたものだったが最近はあまり見かけない。それどころか大人の女性がファッションとしてハイカラにし、岩崎宏美等がTVで広めたので、もはやおかっぱは大人にとられてしまった感がある。

おしえて　♬おとこの子なぜ　あそこが大きくなるの／おんなの子なぜ　あそこがひらくの／おしえてお兄ちゃん／おしえてお兄ちゃん／おしえて　今すぐ入れてみて

おっぱいCF　「ぞうさんシャワー」「キューティー人魚ちゃん」「魔法の金魚つり」など、お風呂のおもちゃはおっぱいの見えるCFが多い。お風呂おもちゃ以外では「コスモス」「ニチイ」「学研」「鬼怒川温泉ホテル」などのCFがある。今やビデオは必需品である。

お兄さん　幼女にとって「年上の若い男性」のこと。特に大学生のやさしいお兄さんはあこがれの的である（ホントかよ〜）。

おまけつきお菓子　まちがえたふりをして、〝女の子むき〟のを買う。小学生のころはふとしたことで〝女の子むき〟のを手に入れると胸が高鳴ったものである。

おみやげ　「わあ！　お兄さんありがとう。俊子、これがとってもほしかったの」

おめこ　古語で女児を意味する「女の子（めこ）」が変化した言葉。

めのこ→おめこ（関西）
めんこ→まんこ（関東）

尚、幼女のおめこは特に「こめこ」とも言う。

おもちゃ　幼女を手なづけるに最適だが、最近は数千円の高価なものが多く、そういうのをねだられた場合、それ相応の利益が得られるか、その子と今後も長く親しくできるかを考慮しないと大損である。またその子の親も不審がる。そこで、おもちゃは買い与えてしまうのではなく、自分の家に買い置き、「い

つでも遊びにおいで」と言うのがよい。自分の部屋で二人きりで遊べる。

オルゴール　夢みる女の子が、夜店で買った指環や、ガラス玉のブローチや、ビーズのネックレスをしまっておく。詩だなあ～。

音楽　幼児はやはり童謡が好きだが、最近はアニメの主題歌なども人気がある。その子の好きな曲のレコードやテープを用意しておけば、その子が自分の部屋に来たとき、帰るのを引き止められるし、一緒に歌って楽しむこともできる。

女の子のくどき方　出崎式……「これを君に持っていて欲しいんだ」と言って自分の持ち物を差し出す。別にペンダントやグローブでなくともよい。

　高畑式……「僕たち友達になれるよねっ」と強引に迫る。その際夕日に向って「おか～さ～ん」と叫んでみるのも効果的である。

　宮崎式……いきなり抱きかかえ、2コマ中1走りで走り去る。日頃から体を鍛え、高所恐怖症は直しておきたい。

か

外食　マクドナルド、デニーズ、ファーストキッチン、すかいらーく、デパートの食堂、などが幼女連れの家族によく利用される。幼女のお食事姿はエロチックなもので、あれを見たさに、立ちそばですませればよいものをついこれらの高い店に入ってしまう。

肩　街を歩いていて幼女の肌に触れるには肩が最も適している。腰より下は幼女の背丈からして普通の姿勢からでは手が届かないし、道ですれ違ったり追い越したりする際、周囲に気づかれず触れるには一番。電車の中で目当ての子を見つけたら、ついて行って改札口を通るときを狙う。

肩書き　幼女といえども、こちらの肩書きによって興味、関心を抱いてくれることもある。といってもお兄ちゃんは早稲田なんだ」「KOなんだ」では全然効果がない。「ウルトラ警備隊なんだ」では反対に白い目で見られる。どんなのが良いかと考えるに、「アニメを作ってるんだよ」などというのがよいと思う。

肩紐　ちっちゃい子がタンクトップを着てると、これがまあ実によく落ちるんですよ、肩紐が。もうちょっとで乳首が……というあのきわどさがたまりません。

カッターナイフ　一般にはラッシュ時の電車の中で、女子高生、女子大生、OL等、お年寄りの女性のスカートを切り裂くのに使用される。従って肉体への損傷があった場合、それはあくまでも衣服を切るという主目的達成上の不手際から偶然生じた副次的な事故であることが多い。また、対象が幼少女に及ぶこともなかった。だが昭和56年8月20日と26日、カッターナイフは少女に実害を及ぼした。東京都足立区で起きたこの事件は小学6年の男子の仕業だったが、これを契機にカッターナイフを握る紳士諸君の中にいたいけな少女を脅かす者が出ないかどうか心配である。

　尚、カッターナイフには紙の切断や工作刀としての用途もなくはない。

ガムテープ　口をふさいだり手足を固定したりするのに便利。ただ幼女の顔は小さいので口と一緒に鼻までふさいでしまわないよう、また児童にありがちな鼻がつまっている状態でないことを確認すること。単に逃げようとあばれているのかと誤認しやすいので特に注意が必要である。

カメラ　街や公園で少女を写すとき、気づかれないで撮るには望遠レンズを用いるか、腰だめ撮影をマスターするとよい。また「写真を撮ってあげる」といえばお友達になるきっかけも出来るし、「あとで送ってあげる」と言えば住所、名前も教えてくれる。

かわいい女の子　かわいい女の子が住む街、かわいい女の子が身につけるもの、かわいい女の子でさえあれば、すべてが詩になる。かわいい女の子のなら、オシッコやウンチでもそこには詩がある。

かわいい子ども服　鎌倉書房発行の子ども服の服飾雑誌。「こどもブティック」より写真はよいが、いかんせんカラーのページが少なすぎる。型紙とかいうつまらないページは、一体何のためについているのだろう？

き

基礎教育　女の子が一人でトイレに行くことが出来るようになったときに、母親が授けるとっても大切な教育。後ろから前に向けて拭くと黴菌が入ってしまうので、必ず前から後ろに向けて拭かなければならないというもの。

帰宅　幼児は夕方になると帰ってしまう。親しくなれて、その子が「ずっと遊んでいたい」と思っていたとしても、帰る時刻になると、ころっと意識が変って「帰りたい」と言い出す。街にあんなにたくさんいた少女たちも、裏通りで遊んでいた幼女たちも姿を消し、我々の目前には殺風景な夕闇が広がるばかりである。

キャンディ・キャンディ
♬ペチャパイなんて気にしないわ
発毛だってだってだってまだまだよ
ファックにフェラチオ大好き
バックにエスエム大好き
私は　私は　私は幼女
ひとりぼっちでいると　ちょっぴり淋しい
そんな時こういうの　パンツを脱ぎ捨て
おそって　おそって　おそってお兄ちゃん
泣きべそなんてさよなら　ね　幼女♡幼女

蟯虫（ぎょうちゅう）　昔はこれがきっかけになってオナニーを始める女の子が多かったそうである。ちゃんと小学校に配られた保健所のパンフレットに書いてあった。

近所　「あのお兄ちゃんが変なことをした」などと噂が立ったら引越さなければならなくなる。近所の子に対しては「やさしいお兄ちゃん」程度に控えておき、また平素から近所の人（特に母親）と挨拶する関係くらいは持ちたい。

く

ぐー・ちょき・ぱー　TBSの幼児向けTV番組。幼稚園児が多数出演。ぱんつが必ず見える。「ワン・ツー・どん」に比べると構成は甘いが、園児の生の声が聞けるところが新鮮である。

姑娘（クーニャン）　長い黒髪おさげに編んで、チャイナドレスのよく似合う、真白な肌の大陸少女、まあるい瞳でさみしげに、娼家の窓から碧海望む。

け

毛糸　帽子、セーター、カーディガン、手袋、靴下、ぱんつ……色々なものになって冬の少女を可愛くあたたかく包む。

こ

光学機器　少女の生態観察に望遠鏡、双眼鏡が役立つ。自宅などから固定して狙うには高倍率で対物レンズの大きいものがよい。夜なら少女のパジャマ姿、着替え、寝姿などが見られる。自分は見つからないよう室内を暗くするが、内外の光でけっこう自分が浮かびあがるので、なるべくレンズだけ出すようにする。（のぞきは軽犯罪法23項に抵触するので注意）

こたつ　遊び疲れた少女がこたつで眠ってしまったら、反対側からそっとのぞいてみる。ほらね、赤いランプに照らされたパンツがとってもセクシーでしょ。

骨盤　少女と大人を分けるものとして、骨盤の大きさが挙げられる。あの大きな尻、堂々たる腰になってしまったら女はおしまい。少女の小さなお尻、細い腰にはニンフェット的魅力がいっぱいである。

こどもブティック　ブティック社発行、子供服専門の服飾雑誌。子供服と言っても女児が中心であり、早ア同では「かわいい子ども服」と並んで買う者は買う（買わない者は買わない）。可愛い子も多いがハーフ指向からまだ脱皮しきれていない。純日本人の女の子の魅力を認識して欲しい。写真については「カメラ

マンの腕がよくない」との声がある。

こどもブティックのバックナンバー　通信販売で手に入る。在庫は販売部に封書で問い合わせればリストを送ってくれる。私は平河町のブティック社まで直接行って12冊買って来たが、81年夏の号を除いてわざわざ入手する程のものではない。

子守り　親戚や近所の子の子守りは進んで引き受けること。幼児の監督から小学高学年生のお相手まであるが、いずれも当然、保護者が近くにいない上、子供は「お兄ちゃんと遊んでいなさい」と言われてあるので、何をするにせよ好都合この上もない。

さ

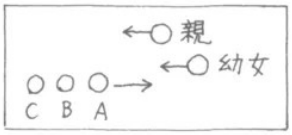
裁縫　小さな女の子が縫物をしている姿には奇妙な愛らしさがある。ヴィスコンティの映画「地獄に堕ちた勇者ども」でリザ役のイリナ・ワンカが針仕事をしているシーンがある。必見。（どういうわけかプログラムにはイリナの写真は一枚もなかった。新書館から単行本が出たがイリナの写真は一枚きりで、それもヘルムート・バーガーの陰になって顔が半分隠れているのだ）

阪井キャサリン　小学3年生。この子が全裸を見せた映画「子どものころ戦争があった」は、ついに日本映画にも本格的ロリコン映画の到来を告げた。ロリコンもので、しかも反戦ものという、平和を愛する少女愛好家にとってはまことに結構な作品。中でもキャサリンの死化粧は凄絶に美しかった。こういう映画をどんどん作って欲しい。

し

シーソー　少女と二人でやるとき、こちらが下になって止めれば相手は降りるに降りられないので、ちょっとしたいじめごっこができる。

ジェット・ストリーム・アタック　ロリコンが幼女にタッチする戦法の一つ。街ゆく幼女にさりげなく接近、すれちがいざま肩や手などに触れ、急速に離脱する。高等技術例――3人が縦一列に並び、①Aが肩ひもをはずす　②Bが服をはがす　③Cが胸にさわる。



視姦　電車の中に可愛い子がいたら、じいっと見つめていよう。彼女は意識して何度も何度もこちらを見てくれる。

児童公園　動的な幼女の形態が観察できる。ひとりぼっちの子がいたら遊んであげる。

シベール（Cybèle）　①（古代フリジア神話）キュベレ。フリジアを中心として小アジア地方で崇拝された自然の女神。神々の母とされギリシア神話のRheaに当る。少女神ではない。幼女神でもない。②フランス映画「シベールの日曜日（Cybèle ou les Dimanches de Ville d'Avray）」に登場する12歳の少女フランソワーズが大切にしているもう一つの名前。①が起源。フランソワーズは清楚で愛らしいパトリシア・ゴッジが好演。③別冊少女フレンド53年12月号に掲載された布浦翼「たそがれの13丁目」に登場。永遠の美少女。

写真集　独偏による少女モデルのベストクは「小さなパリジェンヌたち」のアンとステファニー、「少女」の奈々ちゃん、「少女の詩」のしげみちゃん、「リトルプリテンダーズ」の由美子ちゃん、「12歳の神話」の多絵ちゃん、「アフロディーテの神話」の、うぐいす色の着物を着た少女、である。

それにしても、セーラー服写真集だの女子高生写真集だのに「少女のなんとか」というタイトルをつけるのはやめて欲しい。17～18歳にもなってどこが少女だというのだ。

車内ポスター　下り東西線中野どまりの電車が中野に到着して乗客がみんな降りたときが狙い目で、早ア同の面々は集団窃盗犯に変身する。銀行のポスターにいいのが多い。

シャボン玉　少女と一緒に楽しく遊べる。同じストローを使えば間接キスである。

純粋培養　女の子を、赤ん坊のときから俗世間から隔離した状態で育てること。天井だけがガラス張りの大きくて美しい部屋で、誰の目にも触れさせず、愛情だけを与えて、きれいなものしか知らない少女を作る——少女愛好家の究極の夢である。——でも、そうして成長した少女が、ある日、空を指さして「あの向うには何があるの？」と訊いてきたら、やっぱり心が痛むだろうな。

　このテーマのものには、星新一「月の光」、手塚治虫「奇子」などがある。

小学校　女性の人生において最も魅力的な時期である6歳から12歳までの少女を、実に6年間の長きにわたって強制的に収容し一般社会からの隔絶をはかる施設。その内部においては、男女の小学生を一緒の部屋で着替えさせるなどの理不尽なことが行われており、こと に教員ともなれば毎日毎日そのような女子小学生たちの行動様式のすべてを目のあたりにすることが出来る。私は教職課程をとるのを忘れてしまった。

少女　女の子のことである。不思議なことに「女の子」というよりは「少女」といった方がアカ抜けて聞え、なんとなく「少女」の前に「美」がついているかのように思える。

小児科　子供専門の医院。患者の半分が男のガキであるという難点はあるが、可愛い女の子に、胸のボタンを外させたりシャツを脱がせたり乳首に聴診器をあてたり胸を打診したり口に指を入れたりお注射したりぱんつを脱がせたり浣腸したり台の上にねかせたりあちこちさすったり出来る。知り合いに医学部狙いの男がいるので、将来彼の医院で受付兼助手として雇ってもらうつもりである。彼は女児科(にょにか)を開業すると言っている。

女児　語感が好きだ。

女児下着　ぱんつ、スリップ、ランジェリー、シャツ、スリーマ、などがある。ブラジャーやパンストというのはあまりない。スーパーやデパートで女児下着売場を散策してみよう。思わず頬ずりしたくなるような可愛い下着がいっぱいである。しかもこれらは大変安い。ああ、私にほんの少しの勇気があれば、両手にいっぱい買ってくるのに……。

女子小学校　一般の小学校から男のガキという夾雑物を取り除いたこの世の楽園。たった一人でも心のときめく女子小学生が群をなしておるわけで、群をなした女子小学生の、あの独特のキャーキャーキャーという騒々しさはちょっと筆舌に尽しがたいものである。それにしても概して女子小学校の塀というのはなぜああも高く造ってあるのだろう。

処女　「少女」と発音が似ていて、紛らわしいことこの上ない。初めてホルスを見たときあせったのは私だけではないはずである。

女性器　友人に、生れて初めて無修整ポルノを見せられたときはショックだった。子供のって線一本であんなに可愛いのに、それがどうしてあんな気持悪いのに変化してしまうのだ。そのメタモルの途中が見たい。誰か女性の人、見せて下さい。

初潮　早い子の場合、11～12歳でやってくる。もっと早い時期におこる子もいるが、早発月経は卵巣や脳下垂体に腫瘍が出来ている疑いがあるので、親は注意せねばならない。

白い結婚　ラ・ノッツェ・ビアンカ。夜の交渉をもたないことを条件に結婚すること。まだ幼いルクレツィア・ボルジアが政略結婚でジョヴァンニ・スフォルツァと結ばれた時、彼女の年齢を考えて、結婚後に一年間の婚約期間を置くという条件が出された話は有名である。これが慣習として認められれば幼女との同棲も可能。

白タイツ　ベッキーのはいた白タイツが欲しい！

白ブーツ　クララやヒルダが常用するがとってもいやらしい雰囲気をうける。どちらも脱いだところがまた、いやらしい。

シンドバッドの冒険

♪幼女のくつ下は幸せがいっぱい
　幼女のパンツには希望がいっぱい
　さわろうみんな　さわろうみんな
　幼女のふとももを　幼女のおしりを

す

スカート　はく、はかせる、ぬぐ、ぬがせる、ひるがえる、ひきおろす、めくる、めくれる、すける、みえる、のぞく、さわる、ひっぱる、などたいへん用途の多い服のこと。普通、使用されている布地が少なければ少ないほど良いスカートといわれており、即ち、「幼女の」「裏布のない」「ミニスカート」が、最高のスカートということである。

スキンシップ　特に低年齢の子には親しみをもたせるためにスキンシップが重要である。一緒に遊ぶ際には、なるべく常時自然に肌が接触しているようにすること。歩くときは手を握り、話すときは手を肩におき、寄りそってすわる、などなど。

スクール水着　紺色のいわゆるスクール水着にはちゃんとおしっこをするための穴があいている。ぜひ、小学生があの穴を両手の指で前後にひっぱりながらおしっこをしているところが見たい。また、出来ればあの穴から指を入れさせてもらいたいものである。

砂場　児童公園では一番、一緒に遊んであげやすい。「何つくってるの?」と声をかけて、その子の創造目的を尊重しつつ共同作品にとりくもう。両側からトンネルを掘り進んだ二人の手が、砂の山の中で触れ合ったとき、そこに二人だけの世界がある。

遊び終ったら、その子の手や服の砂をはらってあげるのを忘れないように。

スニーカー　白で、線がはいってなくて、足首のところのふちがピンク色の、19.5センチのスニーカーが好きだ。

スポック博士の育児書　初版より20年余、数多在る育児書のトップに立つ〝育児の聖書〟。0歳から12歳までの子供の育て方を具体的に手をとるように詳しく説明。愛娘と二人で暮す父子家庭の父親や、念願の養女を貰った少女愛好の士は必携。

すまた　①要所を外れていること。
②幼女を外れていること。

せ

精液　相手が幼女の場合、当然本来の目的には役立たない。そこで、「蛋白質だからきれいになるよ」と言って体にぬってやるか、飲ませることになるが、きれいになる科学的根拠はなく、単なる遊戯である。飲むのは、各自試飲すればわかる通り非常にまずいが、その子が愛してくれていれば、飲んでくれるはずである。

生理用ショーツ　最近は小学校5～6年になると学校で斡旋してくれるそうである。しかし、実のところ普通のショーツとどこが違うのか私は知らない。誰か女性の人、見せて下さい。

背丈　女の子と話すとき、こちらの背丈の方が相手より高い。そういう場合、しゃがんで自分の視線を相手の目の高さまで下げることによって、女の子が感じる威圧感を取り除き、親近感を与えることができるのは、児童心理学の基礎である。

狭き門　力を尽して狭き門より入れ。《ルカ伝第13章24節》

銭湯　小さい女の子がお父さんと男湯へ入ってくることがあるので出来るだけ毎日行きたいトコロ。注意することは、あまりジロジロ見ていると父親ににらまれることと、メガネを使用している者ははずさないことである。また、裸を見ることは出来なかった場合でも、出口で湯上りの少女をみることが出来る。
家が近い子の場合は、銭湯からパジャマ姿で帰ることもよくあり、これも見逃せない。

そ

挿入歌　挿入するときに歌う歌。

た

ダイアナ　名前からすると経験豊富なのだ。顔に似合わず。

体温　子供の体温は大人より高い。少女の感触を楽しむとき、このことがたまらない魅力の一つになる。

たて線　早ア同で使われている陰語。

他力本願　ロリコンが、自分は結婚する気がないくせに、世間の普通の人たちがどんどん結婚してどんどん少女をこさえてくれるのを当てにすること。

ち

痴漢　電車の中で触っても、性意識のない幼女は大抵気づかないし、動き回ることが多いので構えているだけで自然に触れてくることも多い。一般に、幼女でも細身の子は敏感で、太目の子は鈍く、気づかれにくい。

恥丘　これを守るためと称して戦うアニメが多い。中には「こんなに恥丘が好きだから」という素直なものもある。

チャイルド・ポルノ　外国物にはろくなのがない。第一、印刷の悪さが耐えられない。買わない方がよい。
やっぱり日本の少女は可愛いよ。

チャイルド・ワイフ　幼な妻。世間ではハイティーンでも幼な妻というらしいが、ここでは問題外。少女との婚姻は、つい前世紀までかなりの国で可能だったが、現在では第三世界に夢を馳せるしかないようだ。
近代の文化人で、このような可愛い奥さんを貰った人物では、19世紀アメリカの詩人エドガー・アラン・ポオが著名である。彼と結ばれたとき、ヴァージニア・クレムは13歳9箇月。この小さな従妹はポオの妻(ワイフ)として、妹(シシィ)として、詩神(ミューズ)として、極めて重要な位置を占めていた。なかなか理想的ではないかー！　少女との結婚を認めちくれ。

つ

通信販売　その手の同人誌や写真集を購入するのに便利であるが、品質、内容を確認できぬため、屑を摑まされることも多い。早ア同の新入会員某は、他会員にのせられて一万三千円也の豪華少女写真集を買ったが、内容を見て憤死した。

つけはじめブラジャー　子供下着売場で売っている。要するに、カップがほぼぺったんこなブラジャーである。初めてブラジャーをつけた日の時めきと共に、少女は大人になっていってしまうのだ。
とはいえ、このブラジャー自体には非常にエロチシズムを感じる。

て

手鏡　「お風呂に入ったとき、何気なく手鏡で足のつけ根を見てみたの。そしたら、蛤みたいなものがあったのであたしびっくりしたわ。だってもっと美しい形をしているのかと思っていたんですもの……」　少女が誰でも通る道である。

と

東京アスレチッククラブ　略称TAC。中野駅南口3分。中野文化センターにアニドウの上映会を見に行く途中には、室内プールで泳ぐ女児たちを道からガラス越しに眺めるのが、早ア同の恒例である。

ドラえもん　出して出してー！　あいあいパラソルとどこでもドアといなりキャップとオールマイティパスと念力目薬と着せかえカメラとこっそりカメラとお医者さんカメラとすけすけ望遠鏡と透視メガネと人間あやつり機とイメージ実体機、出してー！

な

長靴をはいた猫　♬ビックリしたニャ　ビックリしたニャ
ビックリしたビックリしたビックリしたニャ
パンツをぬいで　幼女を求めて
おばんを捨てて
ロリータ趣味だから　ロリータ趣味だから
女子小学生のスカートを
女子小学生のブルマーを
ひっぺがしたくなるのさ
ひんむきたくなるのさ　僕らはロリコン

に

日本興業銀行　81年の文系大卒者人気企業ランキングで9位にのし上がった。あのポスターの功績がかなり大きかったのではないだろうか。

人形　①幼女の友。
②美術愛好家の友。
③変質者の友。

ニンフ　ギリシア神話の妖精。美少女のたとえに使われるが、日本人には使われない。

妊婦　一字ちがいで大ちがい。ニンフはたちまち年増に化けてしまう。ただしその腹の中には、50%の確率で未来の少女が入っているのだ。

ね

年齢　女の子が生れて何年分、老化してしまったか、あと何年で少女ではなくなってしまうか、を示す数字。ひと口に少女愛好家といっても、それぞれ好みの年齢が違っている。早アワには一人、5歳以下でなければだめという重症患者がいる。

の

のぼり棒　スカートの子が登るとぱんつが直接棒に押しつけられこすりつけられる。こうして幼女も快楽の世界を知っていく。上手に登れない子は抱きかかえて押し上げてあげれば、手がぱんつに密着し、さらには彼女の体重でくいこみ、とても楽しい。

は

はあ…はあ…　幼女のあえぎ声

ハイソックス　足がとても可愛く、スマートに見える。やはり白がよい。

箸　私は、お箸がちゃんと使える女の子が好きだ。幼時教育は疎かにしてはならない。

パジャマでおじゃま　パンツでおじゃまもやって欲しい。

バスタオル　お風呂からあがったあと、大人のまねをしてバスタオルを巻いても、幼女の場合ひっかかりがないのですぐ落ちてしまう。

肌　少女の肌はとっても肌理が細かくてなめらか。これを味わうには肩車をしてやるのがいい。ふとももの感触が満喫できる。また、後ろ向き肩車も最高で、触れない場所がない。

'81国際女子ジュニア体操競技選手権　"水色の妖精"ルーマニアのラビニア・アガケが、個人総合と、種目別の跳馬、平均台、ゆかの3種目、計4つの金メダルを攫った。しかし彼女も可愛いが、ソ連のレギナ・スタロデューブも忘れてはならない。そしていっちゃん可愛いのはタチアナ・キムである。

'81全日本ジュニア体操競技選手権　「女子個人総合」で惜しくも三位だった朝日生命体操クラブの和田佐和子ちゃん。小学6年生。幼い躰に同クラブのコスチュームがよく映える。ポニーテールの白いリボンが魅力的。

バック　いわゆる後背位のことではなく、肛門への挿入のことである。まだ性器への挿入が無理な女の子でもバックなら可能なことがあるので試してみよう。

花火　少女、浴衣、線香花火。夏の夕べの風物詩。一緒に花火をしよう。きっと彼女にとっても思い出に残る夜になるはず。

パンツ　幼女、少女の下腹部をおおう下着。白、または白地に模様のあるもの、であることがおおい。黒やシースルーというのはあまりない。ごく小さい子だとスカートの裾から見える可能性がたいへん高く、特に電車の座席で正面から観察できる幸運に巡り合ったときなど、つい乗り越してしまう。また白いワンピースがすけて、ひときわ白くパンツが見えているのもすてき。

　何といっても性器に密着しているため、小学校高学年以上の子のパンツには、いわゆるおりものによって一定形状のしみがついていることが多い。

ひ

ピアノ　ちっちゃなお手々の動きがとってもひわい。

ピアノのおけいこ　教育TV月曜夜。56年4月から9月まで出演していた浅井千穂ちゃん（小学1年生）がとても可愛いの。

尾行　少女のあとをつけることは日常よくあるが、尾行は真後ろでなく相手の反対側の歩道など、斜め後ろにつくのが鉄則である。尾行を気づかれにくいし、見失うことも少ない。また、相手が道の右、自分が左後ろの場合、横道へ折れても、右へなら、真後ろからよりもその道への視界が広いし、左へなら相手は一旦自分の前を横切るので事前にわかる。

ピット星人　地球にはかわいい女の子に弱いロリコンなる人種がいることを発見し、それを利用して地球を攻撃しようとした。

ビデオ　今見えた、いや見えなかった、という無益な論争を避けるための道具。

ビニールプール　路上で幼女が水着ではしゃいでたりするが、たいてい母親が見守っているものである。でなければ最近は黒山の人だかりができてしまう。

ビニール本　あんな、毛がうじゃーっと生えたのばっか大写しになった本がどうして売れるんだろう。う～～気持わるいよー。

美幼女　美しい幼い女の子、即ち地球上で最もすばらしい生物のことである。「幼女」の場合は「少女」と異り美しいというイメージが必ずしもつきものではないため、特に「美」をつける必要がある。故にこの様な、俗人が聞くと一種異様な単語が生じたのである。

ヒロコ・グレース　早アア同では全然人気がない。

ふ

フェラチオ　小さなお口をいっぱいに開けて、幼女はおにいさんの気持をつなぎとめておこうと必死である。

服装倒錯　①こども服雑誌を見て寸法を直し、自分で作って着てみる。②幼女用の小さいのを無理矢理着て、快感を味わう。「こ、このぱんつ、きつくていい気持ち～～」

ぶつかり　幼女とすれ違ったり追い越したりするときにわざとぶつかること。ぶつけるのにバッグを用いるのも手軽で自然である。すぐに「ごめん、大丈夫？」と声をかけるわけだが、ぶつけるときに転ばせておけば、更に「けがしてないか見てあげる」と言って、検査してあげることができる。その際、実際にけがをしては大変だし泣き出されても困るので、十分注意すること。バッグには柔かいものを入れておき、加速をつけずに少し押し倒すような気持で当てるのがよい。なるべく地面がコンクリートより土の場所で、倒す先に危険物がないかも気をつける。

プリントティシュー　アニメのキャラやサンリオのキャラみたいなのがうすいピンクや水色で印刷されているティッシュペーパー。女の子が使うとかわいいが、男が持ち歩き、使用すると不気味である。（にもかかわらず、早アア同には「ペリーヌ」のを持ってるやつと、「フランダース」と「キャンディ」のを持ってるやつがいる。）

ブルマー　色っぽいものである。

へ

ヘアバンド　とてもかわいく見える。でも最近あまり見かけない。残念！

ペチコート　語感がいい。エプロンドレスと合わせ用いると最高にノスタルジックである。

ベッキー・サッチャー
♪サッチャーはね
バナナが大好き　ほんとはね
だけどちっちゃいから
バナナが半分までしか　はいらないの
可哀想ね　サッチャー

ベッキーの夏服　「なまず釣りの日」「おそろしい出来事」で登場。若葉色のワンピースで大きいつばのむぎわら帽子とパンプスをあわせる。「なまず――」ではベッキーはこの帽子でなまずをすくい、夏服はびちょびちょになって、すけておめこが見えてしまう（ことはなかった）。

変態　世間一般は我々をこう呼び、我々は世間一般をこう呼ぶ。結局人類の別称である。

変な匂い　女の子の何日も着っぱなしだった洋服の匂いのこと。ぜひ一度かいでみたいものである。シミーズの方がもっと変な匂いがすると思うのだがあれはやっぱりおじいが洗濯したのだろうか。

ほ

盆踊り　暗闇とにぎやかな明るさの中で、愛らしく若々しい幼・少女たちがゆかたを着て、色っぽく、そして健康的に踊り、笑い興じ合っている光景は神々しいほどである。

ま

迷子係　アルバイトをするならイベントの迷子係である。迷子らしき子がいたら近づいて声をかける。保護所へ連れて行くときは手をつないで。名前、住所をきくときは両肩に手をおいて。その際いろいろお話をして、その子がトイレに行きたがれば個室までつきそってあげる。すべて職務なので、熱心にやればやるほど評価があがる。

マクドナルド　アルバイトをするならマクドナルドのお兄さんである。バイトをする日や時間帯が自由なので、見たいアニメを犠牲にしたりする必要がない。お客には女の子がたくさん来るので目の保養になる。日曜日には子供たちに厨房の中を見せてあげるサービスがあるのだが、「あ、そこ熱いから気をつけてね」と言って触ることが出来る。

マシュウ・カスバート　「1ダースの男の子よりも、一人の女の子の方が楽しめる」という名言を残した老人。

マネキン　誰か女児のマネキンを下さい。

み

水着　ビキニよりはワンピースの方が多いし、少女にはワンピースがよく似合う。ところが幼女になると一概にどちらとはいえない。

水飲み場　公園の水飲み場は台が高くて小さな子には届かないものが多い。幼女が水を飲みたそうにしていたら抱き上げてあげること。

ミミちゃん　「パンダコパンダ」のラストで歩いていくところの、お尻の振り方が異常に色っぽい。見るたびに興奮してしまう。

ミミちゃんのパンツ　あこがれの球状パンツである。

む

麦藁帽子　本来、表裏帽子は少年の世界に属するものであるが、少女に於いてはまた別の魅力を発揮する。そして、都会の少女の陽に灼けぬ白い膚、華奢な躯に大きな表裏帽子、

水色のリボン付けて、というのも愛らしくはあるが、やはり麦藁帽子は、小麦色に灼けた膚、スラリと伸びた手足、笑うと白い歯のこぼれる田園の少女に一番似合うのである。強い風、強い陽射しの下、片手で麦藁帽子をおさえながら、半身を隠すような香麦の中に少女は居る。

胸　ペッタンコの胸の小さなピンク色の乳首には何ともいえない痛々しいまでの魅力があり、そっと手をあててみたい衝動を抑えるのに一苦労である。胸がふくらんでしまったものは「おばん」と分類される。

め

綿　ドレスソックスシャツぱんつ、エプロンハンカチetc.　少女には綿100%が一番いい。

よ

幼女　幼い女の子のことである。普通は会話にはあまり出てこない単語なのだが、愛好家同士の会話においてはやたら出てくる重要単語である。

養女　「幼女」と発音は同じだが意味は違う。しかし目的は同じである。

幼女の膣炎　卵巣活動のない幼女の場合、膣や外陰部の粘膜は抵抗力が弱く、ちょっとした刺激や全身の衰弱によってすぐ炎症を起してしまう。だからロリコンもうらやむ超短小の人でも、幼女を全く傷つけずに楽しむのは難しいのだ。また、幼女には淋菌に対する抵抗力がないので、銭湯などでペタッと直接床に座ってるのを目撃したら、ためらわずに、腰かけを使うよう指導してやりましょう。

幼女のぱんつ　ブックカバーに最適である。洗って何度でも使えます。早ア同では一時、サークルの連絡ノートのカバーとして使っていたが非常に具合がよかった。ただし精神衛生上はよくない。

幼女売春　本来は少女売春のことである。だが世間では少女売春というと女子高生売春を思いうかべるため、その誤解を避けるために生み出された言葉。しかしこれは愛好家の悲しい願望が生んだ言葉で、現代の本邦においてはまず存在しない。経済大国といわれる日本で、多くの需要がありながら供給のない産業がまだあったのである。淋しい限りである。

妖精　小さな女の子のたとえとしてよく使われる。これは彼女たちの性的に未分化のイメージや、純粋、潔癖な印象からくるものであろう。そう、可愛い女の子の背中には透明なつばさがはえているのである。
　尚、早稲田大学文学部にはフェアリー・テールの講座がある。

代々木第二体育館（国立代々木体育館別館）　女子ジュニア体操競技会の会場として折毎に使用される。昭和56年夏には「全日本ジュニア体操競技選手権」と「国際女子ジュニア体操競技選手権」が開催され、少女たちの匂いと汗をたっぷり吸い込んだ。日本体育館の鑑というべきであろう。

ら

ラナのぱんつ　1話の着替えシーン（ビデオで止めて垂直同期つまみを調節すると完璧に見える）と8話の水中シーンで登場。本誌に写真を掲載する予定だったが「アニメージュ」9月号の付録ポスターに先を越されてしまったため没にした（あっちはカラーだしねー）。

ララベル
♬わたし、フェラチオ知ってるの
だけど、内証にしてね
いざというとき使うから
それまで誰にもさせないでね
ベラルル　ベラルル　ベララルラ
バトンをひとなめ　あら不思議
ベラルル　ベラルル　ベララルラ
幼女はお口が　ものをいう
やるわよ　やるわよ

ランドセル　「赤いランドセル」イコール「女子小学生」である。このイメージ喚起力はものすごい。しかしだからといってランドセル

それ自体にフェティシズムを感じるようになるといくらなんでも重症である。

り

リカちゃん電話　03-604-1141。あ、そうそう、リカとのお約束。かける時はちゃんとおうちの人に言ってからにしてネ。

りんご病　数年前から小学生のあいだに流行している、ほっぺたが赤くなる病気。アニメのキャラクターでも、ハイジ、アローア、ジュリエッタ、ローラ、ミニーメイなどが罹病している。

れ

レインコート　雨の午後、閑静な住宅地の坂道を歩いていると向うから一人の少女。フードつきの黄色いレインコート、ランドセル、まんがのついた傘、白い長靴。すれ違いざま、憂いをかくした少女の顔が一瞬雨の光に輝く。雨は少女愛好家を詩人にする。

レオタード　あの部分はちゃんと布が二重になっているのだろうか。レオタードを持っている少女の方、見せて下さい。

ろ

ロリータ　ウラジミール・ナボコフ作。技巧と修辞に満ちた、すぐれて小説らしい小説である。物語には善悪も道徳観念もない。ただ、感じるか否か、のみである。私は前者であった、と言っておこう。

ロリコンの宇宙旅行

♪ラナのちきゅうに手を入れて
小さな胸をなめまくる
夢と希望とあこがれが
ラナのおめこにいっぱいだ
やぶれ　ロケット　ロリコン号
やぶれ　ぼくらの　ロリコン号

わ

早稲田アニメーション同好会　見知らぬ幼女にいたずらした場合、逃げるときに「お兄ちゃんは早稲田アニメーション同好会なんだよ」といえば、捜査の矛先を一時的にでもそらすことができる。しかし、健全なアニメサークルである我々が迷惑するので絶対に使用しないこと。

ワンツー・どん　NHKの小学1年生向けテレビ番組。出演　潘恵子(声)、田中星児、大和田りつ子、石川晶、クニ河内、他。それと小学生の群れ、主に女の子。人形製作は川本喜八郎である。毎回同じ子が出るわけではないが、かわいい女の子が二人いる。音楽遊戯番組でその音楽性は非常に高い。あそびもとってもおもしろい。

わんぱく幼女のペニス退治　〆幼女が　おくわえになった～～～

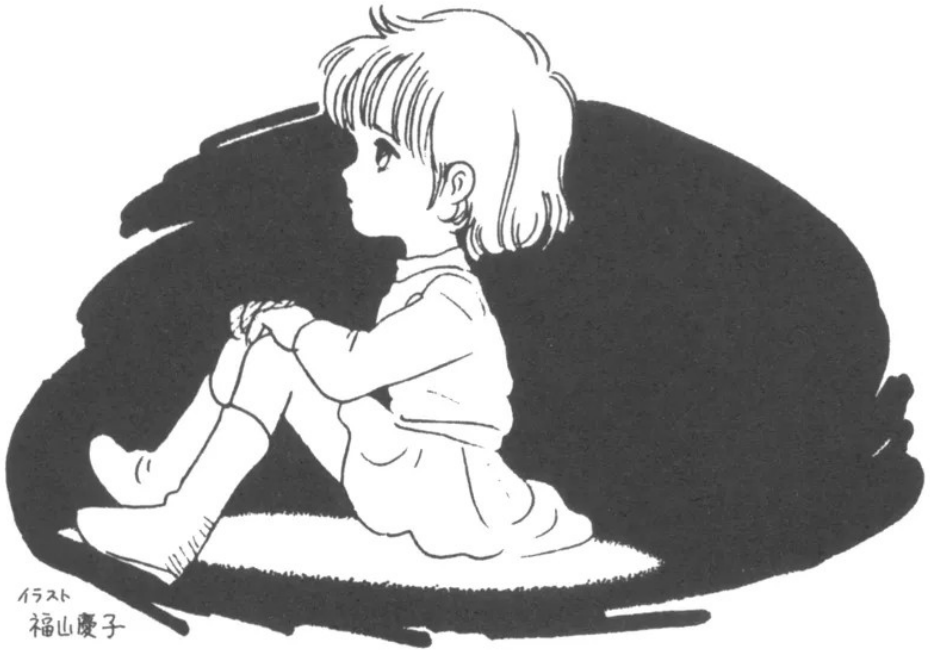


イラスト
福山慶子

少女ヌード写真集 ほぼ 完全リスト

1981年9月末現在
（順不同／＊印はお勧め品）

	タイトル（カメラマン）	出版社	定価
上製本	エウロペ 12歳の神話 Europe （剣持加津夫）	ブロンズ社	2800
	＊写真として美しく、健康的な感じに作られており、映画化もされている。		
	エウロペ 12歳の神話Ⅱ Europe （剣持加津夫）	ブロンズ社	2800
	「少女」 ヨーロッパのすてきな少女の裸像 （石川洋司）	三樹書房	4500
	愛の妖精ソフィア Sophia （石川洋司）	〃	3200
	少女アリス Alice （沢渡朔）	河出書房新社	3000
	＊妖精のイメージでとらえた幻想的な少女写真集ということなら右に出る物がない。		
	海から来た少女 Alice from the Sea （沢渡朔）	河出書房新社	3000
	聖少女 Nymph in the Bloom of Life （清岡純子）	フジアート出版	3800
	野菊のような少女 Nymphet （清岡純子）	〃	〃
	犬と少女 The Little Girl and Her Friends （清岡純子）	〃	〃
	舞・少女 Rosy Angels （清岡純子）	〃	〃
	五人の可愛い人魚たち Cinq Petites Sirènes （パトリック・モラン）	みき書房	2800
	愛・少女 妖精たちの時間 （ジャンルイ・ミッシェル）	芳賀書店	〃
	＊生き生きとした自然な写真で、仲々おもしろい。		
	アフロディーテの神話 Romance （会田我路）	竹書房	13000
軽装版	小さなおすまし屋さんたち Little Pretenders （山木隆夫）	ミリオン出版	1000
	ヨーロッパの小さな妖精たち Les Petites Fées （石川洋司）	世文社	1200
	戯れる少女たち Poupée （石川洋司）	〃	〃
	少女の詩 Little Angels （近藤昌良）	〃	〃
	＊小さな子がたくさん出ていて割と可愛らしい。		
	白夜の少女 Tina （大舞地静樹）	徳間書店	1200
	白夜の国の妖精たち Nymphs of Scandinavia （糸数昌寧）	日本出版社	1500
	11歳の妖精"樹理"が舞う The Little Jully （大山謙一郎）	ヤック翔龍社	
	「少女」 （会田我路）	桃園書房	1800
	＊モデルの奈々ちゃん（10歳）が可愛くてあきない。		
	五人の少女の前奏曲 Romance （会田我路）	竹書房	1200
	青い果実 （大渕静樹）	壱番館書房	1300
	風の中の少女 （近藤昌良）	セルフ出版	1500
	双子の妖精ジュメール Jumelles （大山謙一郎）	笠倉出版	1200
	母と娘 マ・フィーユ Ma Fille （大山謙一郎）	〃	1500
	街には女の子たちがいっぱい （近藤昌良・倉田和彦）	〃	1600
	＊単なる写真集ではなく、少女趣味に関する記事が多い。新しい傾向の本。		
	砂糖菓子のような少女たち Rolly Pop （大山謙一郎）	大亜出版	1000
	妖精ソフィ （石川洋司）	毎日新聞社	1800
	小さなパリジェンヌたち La Petite Parisienne （黒松隆）	辰巳出版	1200
	＊特に小さい子たちが屈託がなく愛らしい。		
	青のデュエット 少女ミエ＆ヨーコ Mie & Yhoko （丸山勇）	立風書房	1200
	白薔薇園 PART 1 （清岡純子）	大塚カラー出版	1480
	白薔薇園 PART 2 （清岡純子）	〃	〃
	小さな花 海の彼方の少女たち	東京スタジオ	1600

これら写真集の多くが本来の少女の美とはかけはなれた、安易なものであることは否めない。ニンフェットは服を着ていても美しいのだ。しかし、少なくとも日本の写真集は、うらで人身売買などをしてモデルを集めたものではない、つまり少女の悲しい犠牲の上に作られたものではないことが救いだ。だから私はこれらを楽しむことにしている。なんだかんだ言っても大人のポルノよりはよっぽど美しいことは確かだからである。（品田俊夫）

早乙・美少女文庫〈目録〉

選定と解説・吉成寛

■ **恋愛ごっこ**　（作者不詳）　富士見ロマン文庫所収

登場する少女は、エリザとマリア。後半にファニーという少女が加わる。これほど素直な少女達はなかなかいないだろうと思う。ファニーがかわいい。

■ **悦楽のうたげ**　（作者不詳）　富士見ロマン文庫所収

登場人物の大半が、少女、というより幼女という、ロリコンにとってはまたとない大傑作。ヴィクトリアン・ポルノの白眉であろう。中でも、クローエの第一エピソードは何とも言えぬ味わいがある。必読。

■ **わが愛しの妖精フランク**　（作者不詳）　富士見ロマン文庫所収

一見少年、実は少女、というありふれたパターンだが、次第に少女らしさを増していく過程の描写が良い。特に、最初に「少女」であることを発見する場面が鮮烈なイメージ。

■ **鏡の国のアリス**　（モリー・フルート）　富士見ロマン文庫所収

ルイス・キャロルの同名の作品とは無関係。厳密に言うと主人公は少女ではない。いや人妻でさえあるが、主たるモチーフが、主人公キャサリンの少女時代の回想にあるので、ここに掲げる。エレクトラ・コンプレックスというのも、味わい深いものがある。

■ **ペピの体験**　（作者不詳）　富士見ロマン文庫所収

ヨゼフィーネ・ムッツェンバッヒェルという少女は、おそらく、とてもかわいい女の子なのだろうと思う。と同時に、これほどあっけらかんとした少女もいない。傑作であろう。

■ **ある歌姫の思い出**　（W・S・デフリエント）　富士見ロマン文庫所収

主人公はデフリエント自身、愛称パウリーネ。描写が非常に丁寧で、読みごたえがある。少女に関するストーリーではないので御不満のむきもあろうが、なかなかに格調高い作品。

■ **豆つぶほどの小さな犬**　（佐藤さとる）

コロボックル・シリーズの二冊目。コロボックル通信社の記者、クルミノヒメ、通称オチビがとてもかわいい。十四歳以下かどうか知らないが……。一読をお勧めする。

このシリーズは、一作目ではおちび先生、三作目ではサクラノヒメ、それにおちび先生の娘のおチャメさんなど、かわいらしい女性が登場する。

■ **ふたりのロッテ**　（エーリヒ・ケストナー）

有名な作品であるから、既に御存知の方も多いだろう。双児のうち、特にあげたいのはロッテ・ケルナーの方。後半、心

痛のあまり病気になってしまうくだり、絶妙である。

■ **名探偵カッレくん**　（アストリッド・リンドグレーン）
もちろん、エーヴァロッタ・リサンデル嬢だ。この子、はだしで歩くわ、男の子と一緒にバラ戦争をするわで、ちっともおとなしくない。が、それでいてかわいいのです。シリーズ三作目、「カッレとスパイ団」のエーヴァ・ロッタは特にかわいい。

■ **長くつ下のピッピ**　（アストリッド・リンドグレーン）
リンドグレーンとくればピッピ。でも、ここであげたいのはアンニカのこと。どこといって取柄はなさそうだが、実に女の子らしくて良い。もっとも、宮崎さんのボードの影響もあるのかもしれないが。

■ **ふくやまジックヴック**　（福山慶子）　アニドウ
かわいい女の子が登場することでは、この本の右に出るものはない。ロリコン・ファンの心理を刺激するキャラクターばかりである。就中、こゆびひめのかわいらしさは絶品。必読。



イラスト
福山慶子

早稲田
アニメーション
同好会

これからのラインナップ

OUT 2月号でおなじみ
アニコムZ 創刊号
特集 ど根性ガエル
・春のコミケットまでに完成なるか？

自衛戦隊ジャパニーズ 設定資料集
・同じく春のコミケットまでには？

ジャパニーズのポスターでおなじみ
原口正宏イラスト集
・完成のメドたたず

以上、発行日、定価など
すべて予定にして
未定です

アニコム VOL.5
カリオストロの城 大特集
残部僅少！
未読の方はお早めに
送料とも700円の
定額小為替で
お申し込み下さい

早稲田アニメーション同好会
早ア

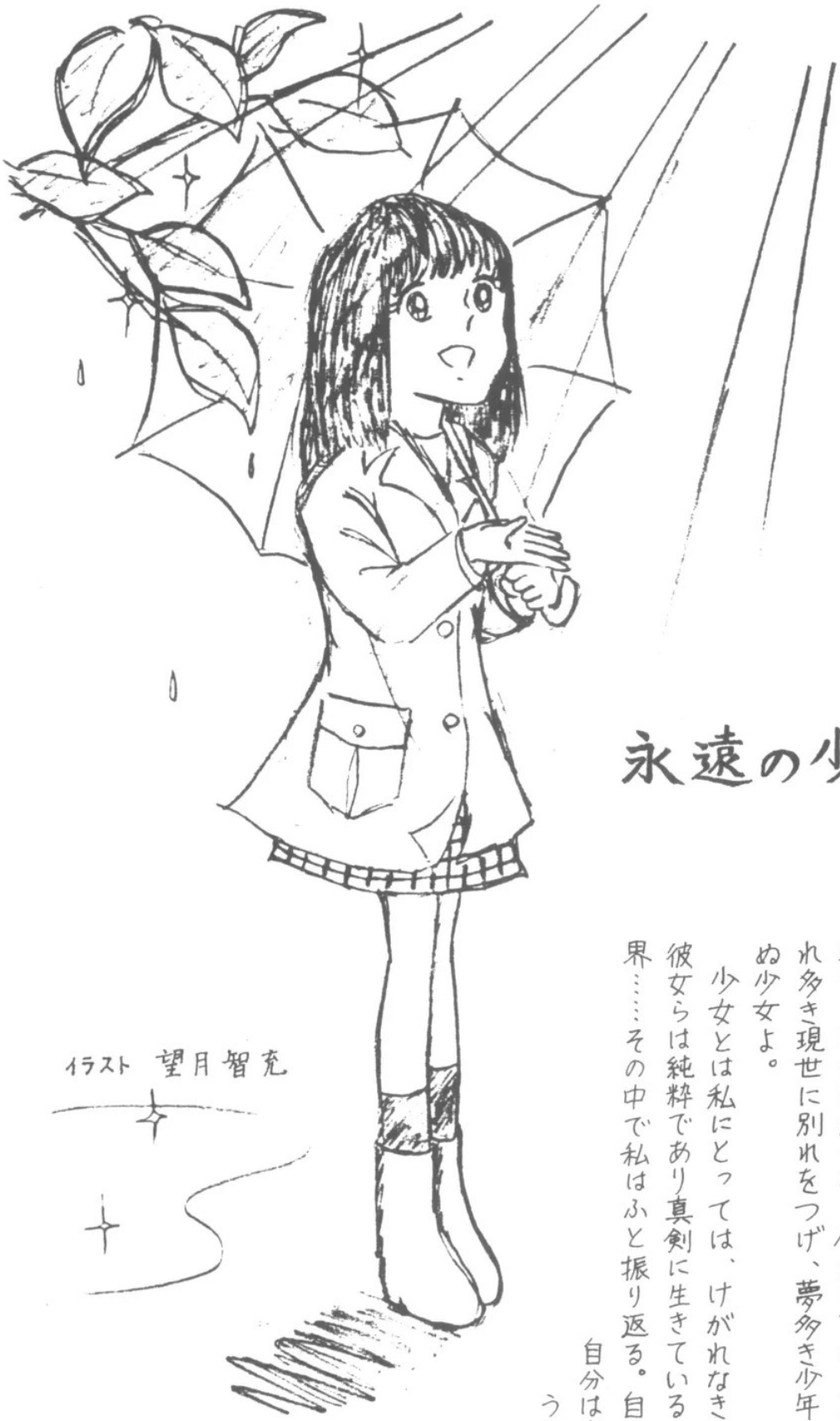


イラスト　望月智充

少女よ
野をかける少女よ
風の中で微笑み
花をめで鳥と遊ぶ
忘れないで
その微笑みを
僕の遠い恋人よ

永遠の少女へ贈る

水上澄

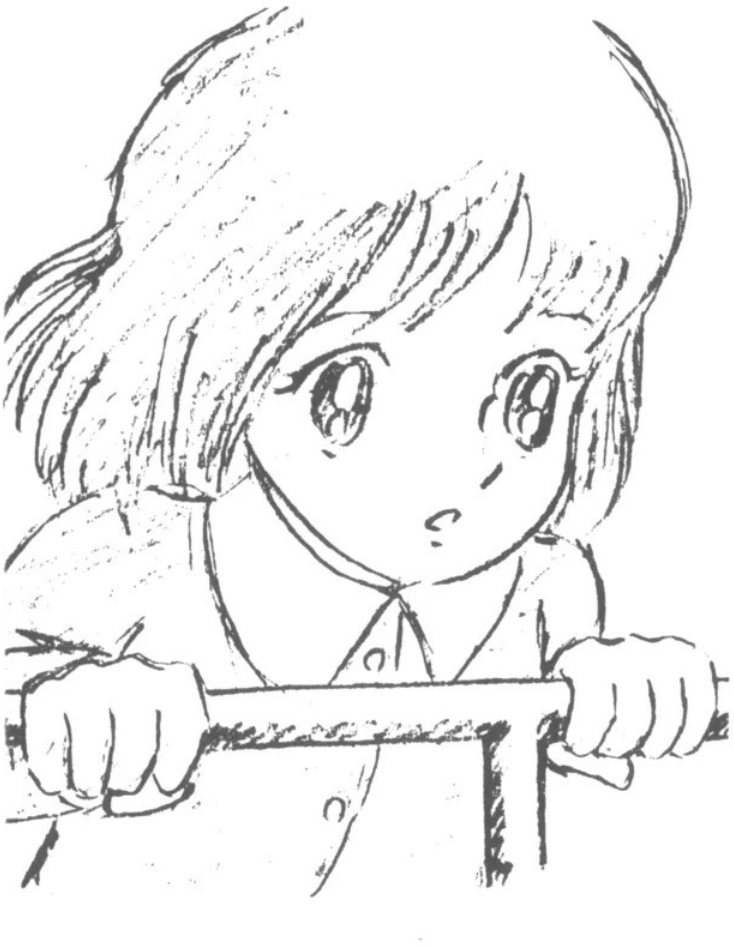
けがれなき少女は草原を走り、やって来る。愛する者よ。少女とは私の永遠のあこがれ。すぎ去りし少年の日々、果たし得ぬ初恋への悔恨。

人は何故生きるのだろうか。その答えは誰にもわからない。わかるのは現に生きていることだけである。それが善であるか悪であるか、それは私にはわかり得ない。しかし私は生きている。人は皆人生を生きねばならない。そして人は生きることに疲れ、時に心弱くなり何かにすがりたくなるものである。けがれ多き現世に別れをつげ、夢多き少年の日々へ。けがれを知らぬ少女よ。

少女とは私にとっては、けがれなき精神世界の象徴である。彼女らは純粋であり真剣に生きているのだ。我々のけがれた世界……その中で私はふと振り返る。自分の人生は何であろうか。自分は真剣に生きているのだろうか。惰性に甘え、何かを置き忘れて来たような空白。私にとって少女の微笑は、すべてを忘れさせてくれる神である。彼女らは生き生きと走り、笑い、そして歌う。そして私は窒息してしまう。

全く、我に似合わぬ

駄文を書いてしまった。本来のペースに戻ろう。少女観を何か書かねばならぬ。それではロリコンとは何でしょう。私はロリコン＝ペドフィリアとは考えません。ペドフィリアは幼女に対する異常性欲としか思えません。私にとってロリコンとは永遠のあこがれでしょう。少女は性欲の対象とはなり得ないプラトニックな存在です。私にとっては少女はプラトニックな世界の象徴です。



少女が美しいのは、彼女らが本当に生き生きとしており純粋で真剣に生きているからではないでしょうか。私は彼女らすべてにこれからも微笑みを忘れないで欲しいし、夢やあこがれを持ち続けて欲しい。そうして私は彼女らを見守っていたい。きれい事だけで人生は片づかないと人は言うでしょう。しかしなぜきたない事を前提にしなければならない。きれいな事だけを見て生きていけたら幸せと人は皮肉るけれど、だからと言って、なぜきたない事が必要悪だと言えるのだろう。きたない事を知らずに生きていけたらそれは幸せでしょう。人は本来純粋に生きねばならないのです。社会悪を社会悪として容認するのは自分への甘えでしかないのです。



少女はまさに純粋さの象徴なのです。純粋さを喜ばぬ人はいないでしょう。人間の幸せを求めぬ人はいないでしょう。少女は人間の可能性の象徴なのです。私は少女に祝福を贈ります。どうか彼女らに幸せが訪れますように。どうか彼女らが人を愛せますように。私は真に少女を愛します。人間を愛します。人間よ生きて下さい。生きるそのことが価値なのです。どうか自分の人生を粗末にしないで下さい。少女へ。

目覚めよ、宇宙の少女愛に

望月智充



イラスト
福山慶子

少女を愛するとは、少女の存在を愛することである。それは、少女が生きられる社会を愛し、少女が幸せにいられる環境を愛し、少女を創造した宇宙を愛することである。

少女は小さい。とても弱い。そして、愛らしい。なぜ小さな者は、愛らしいのか。弱い者は、愛らしいのか。それは、我々が彼女たちを守らねばならないからである。我々に守られなければ生きてゆけないから、愛らしさは、とげも殻も持たない少女の身を守る術なのだ。

我々は宇宙が生んだものであり、そうである以上宇宙の法則に従わなければならない。小さな物、弱い物、愛らしいと感じた物を守ること——これがその一つである。

愛らしいと思うこと。それは人の心が持つ、善き感覚である。そして、だからこそ、この感覚は維持されることを要求する。これは宇宙に生れた我々の義務である。愛らしいものは守られなければならないのだ。

この世に、少女が死ぬこと以上の悲しみはない。最も大きな悲しみを知ったら、あとは道は一つだ。それは少女を殺さないこと、でしかあるはずがない。

「黄色いりんご」（「文藝春秋」五十三年六月号所収）は、七歳の少女が病苦の末に死ぬまでの記録である。これを読んだとき私は浪人中だったが、少しばかりの受験勉強を苦しいなどと思っていた自分が彼女にすまなくて、その後の浪人生活の間どれほど力づけられたかわからなかった。「黄色いりんご」を読んで涙しない人を私は信じない。この少女の苦しみに平気でい

られるような人に、私はいて欲しくない。

近頃我々の身の周りで何が起っているだろうか。少女が通り魔に刺し殺され、あるいは重傷を負わされる事件が何件も続いたとき、私はつくづく人間がいやになった。無抵抗の彼女たちを苦しませることしか出来ないのなら、いっそ人間など滅びてしまった方がいいとさえ、切実に思った。

少女を殺さないためにあらゆる努力を惜しんではならない我我が、彼女たちを、愛することを知る年齢(とし)までさえ生かしてやることが出来なかったのだ。

何と詫びればよいのだろう。詫びようなどない。もう彼女たちには、何も、してやれないのだ。この、人間の絶望的なまでの非力さに私の心はどうしようもなくかき乱される。

しかし、その一方で私は思うのである。死んでしまった少女には何も出来ないが、今生きている少女、そしてこれから生れてくる少女には、まだしてやれることがあると。

たとえ少しずつでも、少女が悲しまなくてよい世界、苦しまなくてよい世界、そして死なくてもよい世界にしていくことができないだろうか。我々一人一人の力は微々たるものであり、具体的に形のあることをするのは困難かも知れないが、できることからしなければ進歩はない。まず、少女の幸せを妨げるもの、それを憎むことから始めよう。

あなたは、少女のために戦争にあくまでも反対できるだろうか。少女のために非武装、非暴力をはっきり理想とできるだろうか。もしこの本を読んでいる人の中に、銃器や戦車や戦闘機が好きでたまらないという人がいたら、今すぐそれらを嫌いになって欲しい。それが出来ないのなら、ゆめゆめ少女が好きだなどと言わないで欲しい。それらは少女を殺すものだ。

頭上に無数の最終兵器が細い糸でぶら下げられたこんな世界で、我々は少女たちにどんな夢を見せてやれるというのだろう。私は少女たちに限りない未来の夢を見て欲しいのに。

人間同士のいさかいや争いなど、こんな大きな宇宙の中の、小さな少女の微笑みの前に、一体どれほどの意味があろう。少女たちの幸せな笑い声があふれているなら、そんな世界なら、それ以上何を求めることがあろう。私が死んでゆく時に、少女たちの幸せに満ちたさざめきをこの宇宙いっぱいに聞くことが出来るのなら、それ以上何が要るだろうか。

時間を止めたい、とは思わない。少女たちはやがて大人になってゆく。それでいいと思う。彼女たちの、過ぎゆく短い少女期が、過ぎゆくものであるが故に美しく輝いてくれれば、それでいいと思う。

少女は美しい。そして少女を愛することも、美しい。美しいものを破壊することこそ、宇宙で最も大きな罪である。だから我々は、少女が生きられる社会を愛し、少女が幸せにいられる環境を愛し、少女を創造した宇宙を愛さなければならない。

少女よ、生きて幸福なれ。
少女よ、生きて美しくあれ。
そして人よ、宇宙の少女愛に目覚めよ。

〈了〉

ーはうぐいすないとー

福山慶子



大人になるって どんな事だか
分ったみたいよ。

つらいめに 会わされて。
そのたびに自分のこころに鏃入れて。
幾度も 幾度も.
とうとう粉々になった破骸の上に
誇らしげに立って.
(さあ私は大人になった。
もう些細な事で こわれる様な
物は 何も無いわ. そういう風に
すっかり 大人よ)

— こんなだよ きっと。


いいわ
そしたら あたしも
そんな風に
大人になってやる
子供達に
今日みたいな言葉を平気で
なげてやる。
そうして どんなに
心を痛めているかを見て
楽しむの！
よろこぶのよ。
でも
そんな あたし…
ウィーナは
嫌いでしょう？

★ END ★

幼女伝説 編集後記

▼ここは冗談がほんとになるサークルである。この春、私が何気なく「少女特集でもやろうか」と言ったのが半年後の今こうして出来上ってしまった。お読みになった方、感想をお寄せください。（編）

▼とはいえ編集長とは名ばかりで、仕事内容は要するに版下づくりである。こんなに本のためにわたしゃ幾晩徹夜したことか……。（集）

▼早稲田大学から高田馬場駅に行く途中、通称「幼女通り」という裏通りがあり、夕方通ると必ずたくさんの女の子を見ることができる。この道を知ってしまったら、もう早稲田通りなんてあほらしくて歩けるもんか！（長）

▼燃えた。燃えつきた。まっ白になった！（変）

▼今バイトしている会社に時々小さな女の子が遊びにくる。家具を扱っているので、イスに飛びのったり、寝ころがったり、大胆なかっこをするので仕事が手につかないで困っている!?　あ～気が狂いそうだ！（太）

▼ララァとユリが載せられなかったのが残念である。（ショウ）

▼今日、幼稚園児をだっこしてしまった。（コ）

▼早大生協書籍部で新潮文庫「ロリータ」が月間売上のベスト10に入ったという事実はあまり知られていない。（蒲）

▼吉成さん、折角送ってくれた富士野高後ちゃんの入浴写真載せられなくてごめんなさい。（魚）

▼少女の範囲を14歳以下としたのはいいが、個人的に年齢オーバーのためカットされた多くの可愛いキャラを思うと少し複雑な気持である。（寺）

▼僕としては多元的に多種多様の幼女論、幼女愛好論が出ることを期待したい。（三）

▼Puellae spinis vulnerantur　他のスタッフの皆さん、全然仕事しないで御免ね。（二）

▼遅れに遅れたヒルダの原稿。あたしゃ田舎でも一冊作ってきたんですよ。こっちに来ても原稿で苦しめられるとは思わんかった。嗚呼、ヒルダに栄光あれ。（髪）

▼OUT10月号のタイムボカン辞典の執筆者は、何をかくそう早乙同のヒダヒダ氏こと肥田氏である。よくよくこれは辞典ばかり作っているサークルである。次は何だろうか……。（山）



イラスト　福山慶子

本誌についての連絡は　〒125　東京都葛飾区新宿5-22-21-106　望月智充　まで

別冊アニコム・少女愛好家のために

1981年10月6日　初版　　1982年2月10日　2版

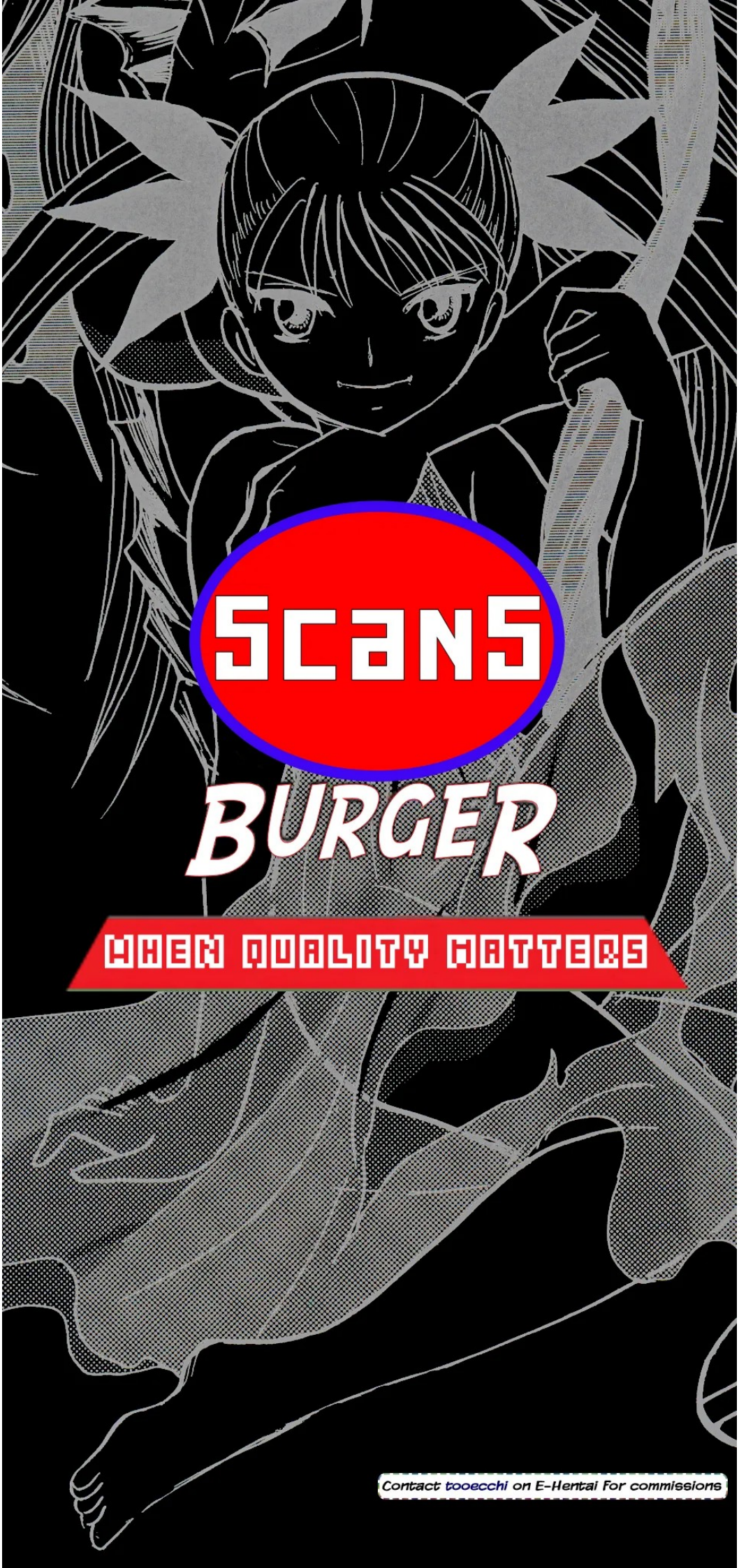
●メインスタッフ
福田　昇
望月智充
田崎康博
小林和彦
寺田洋一
寺田　融
●協力スタッフ
肥田和典
矢野　篤
寺田欣司
尾崎浩正
木梨香寿代
斎木伸生
吉成　寛
●字書き
望月智充
小林和彦
●絵描き
福山慶子
福田　昇
望月智充
田崎康博
小林和彦
木梨香寿代
吉成　寛
●印刷
ナール
●発行人
沢田史信
●発行
早稲田アニ同

福山慶子さん多大なる御協力ありがとうございました

早アニ

早稲田大学アニメーション同好会




Scans
BURGER
WHEN QUALITY MATTERS
Contact tooecchi on E-Hentai For commissions